ユーザー ガイド

初版：2012 年 9 月

製品番号： 696788-291

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法で使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** 低温やけどをするおそれがありますので、ひざなどの体の上にコンピューターを置いて使用したり、肌に直接コンピューターが触れている状態で長時間使用したりしないでください。肌が敏感な方は特にご注意ください。また、コンピューターが過熱状態になるおそれがありますので、コンピューターの通気孔をふさがないでください。コンピューターが過熱状態になると、やけどやコンピューターの損傷の原因になる可能性があります。コンピューターは、硬く水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターの動作中に長時間 AC アダプターを皮膚、または枕や毛布、衣類などの表面が柔らかいものに接触させないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に適合しています。

目次

1 最初の操作

このコンピューターは、ビジネスのシーンでもエンターテイメントのシーンでも存分に活用できるように設計された強力なツールです。お使いのコンピューターを最大限に活用するために、セットアップ後の最適な使用方法、コンピューターを使ってできる楽しいこと、および HP が提供するさまざまな情報の入手方法などについて説明しているこの章からお読みください。

最適な使用方法

コンピューターのセットアップおよび登録が終了したら、以下の手順を行うことをおすすめします。

- Windows®の新しい機能について詳しくは、印刷物の『Windows 8 の基本操作』ガイドを参照してください。

ヒント： 開いているアプリケーションまたはデスクトップからコンピューターのスタート画面にすばやく戻るには、キーボードの Windows ロゴ キー を押します。もう一度 Windows ロゴ キーを押すと、前の画面に戻ります。

- まだ行っていない場合は、有線ネットワークまたは無線ネットワークに接続します。詳しくは、14 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。
- コンピューターのハードウェアおよびソフトウェアについて確認します。詳しくは、4 ページの「コンピューターの概要」および19 ページの「エンターテイメント機能を楽しむ」を参照してください。
- ウィルス対策ソフトウェアを更新または購入します。詳しくは、62 ページの「ウィルス対策ソフトウェアの使用」を参照してください。
- リカバリ ディスクまたはリカバリ フラッシュ ドライブを作成して、ハードドライブをバックアップします。68 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。

コンピューターを使用したエンターテイメント

- コンピューターで YouTube 動画を再生したり、コンピューターをテレビに接続したりできます。詳しくは、23 ページの「HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続」を参照してください。
- コンピューターで音楽を再生したり、放送中のラジオ番組をコンピューターにストリーミングして、世界各地のラジオの音楽番組やトーク番組を再生したりできます。20 ページの「オーディオの使用」を参照してください。
- Microsoft®のアプリケーションを使用すると強力なプレゼンテーションを作成したり、プロジェクターを接続してグループでアイデアを共有したりできます。23 ページの「HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続」を参照してください。

HP が提供するその他の資料

印刷物の『セットアップ手順』ポスターの説明に沿ってコンピューターの電源を入れ、この『ユーザー ガイド』で製品の詳細や使用方法を確認した後は、下の表に記載されている説明書や Web サイトも参照してください。

リソース	内容
『セットアップ手順』ポスター（印刷物）	• コンピューターのセットアップおよび機能の概要
『Windows 8 の基本操作』ガイド	• Windows 8 の使用および操作の概要
[ヘルプとサポート] [ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.htm （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• 使用方法およびトラブルシューティングに関する幅広い情報およびヒント
『快適に使用していただくために』 このガイドを表示するには、スタート画面から[**HP Support Assistant**]アプリケーション→[**マイ コンピューター**]→[**ユーザー ガイド**]の順に選択するか、http://www.hp.com/ergo/ （英語サイト）にアクセスして[日本語]を選択します	• 正しい作業環境の整え方 • 快適でけがを防ぐための姿勢および作業上の習慣に関するガイドライン • 電気的および物理的安全基準に関する情報
HP のサポート 日本でのサポートについては、製品に付属の小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』または HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください	• HP のサービス担当者とオンラインでチャットする • サポート窓口に電子メールで問い合わせる • 各国のサポート窓口の電話番号を調べる • HP のサービス センターを探す
『規定、安全、および環境に関するご注意』 このガイドを表示するには、スタート画面から[**HP Support Assistant**]アプリケーション→[**マイ コンピューター**]→[**ユーザー ガイド**]の順に選択します	• 重要な規定情報

リソース	内容
限定保証規定* この保証書表示するには、スタート画面から[**HP Support Assistant**]アプリケーション→[**マイ コンピューター**]→[**保証規定およびサービス**]の順に選択するか、http://www.hp.com/go/orderdocuments/ （英語サイト）から[日本（日本語）]を選択します	● このコンピューターの具体的な保証内容

* 使いの製品に適用される HP 限定保証規定は、国や地域によっては、お使いのコンピューターに収録されているドキュメントまたは製品に同梱されている CD や DVD に収録されているドキュメントに明示的に示されています。日本向けの日本語モデル製品には、保証内容を記載した小冊子、『サービスおよびサポートを受けるには』が同梱されています。また、日本以外でも、印刷物の HP 限定保証規定が製品に同梱されている国や地域もあります。保証規定が印刷物として提供されていない国または地域では、印刷物のコピーを入手できます。http://www.hp.com/go/orderdocuments オンラインで申し込むか、または下記宛てに郵送でお申し込みください。

- **北米**：Hewlett-Packard, MS POD, 11311 Chinden Blvd., Boise, ID 83714, USA
- **ヨーロッパ、中東、アフリカ**：Hewlett-Packard, POD, Via G. Di Vittorio, 9, 20063, Cernusco s/Naviglio (MI), Italy
- **アジア太平洋**：Hewlett-Packard, POD, P.O. Box 200, Alexandra Post Office, Singapore 911507

保証規定の印刷物のコピーを請求する場合は、製品番号および保証期間（サービス ラベルに記載されています）、ならびにお客様のお名前およびご住所をお知らせください。

重要： お使いの HP 製品を上記の住所宛に返品しないでください。日本でのサポートについては、 http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

2　コンピューターの概要

ハードウェアおよびソフトウェアの情報の確認

ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアを確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して[**コントロール パネル**]を選択します。
2. [**システムとセキュリティ**]を選択してから、[システム]項目で[**デバイス マネージャー**]をクリックします。

   コンピューターに取り付けられているすべてのデバイスが一覧に表示されます。

ソフトウェアの確認

▲　コンピューターにインストールされているソフトウェアを確認するには、スタート画面でマウスを右クリックするか、タッチパッドの上から下に向けて指を滑らせてアプリケーションを表示し、[**すべてのアプリ**]アイコンを選択します。

前面の各部

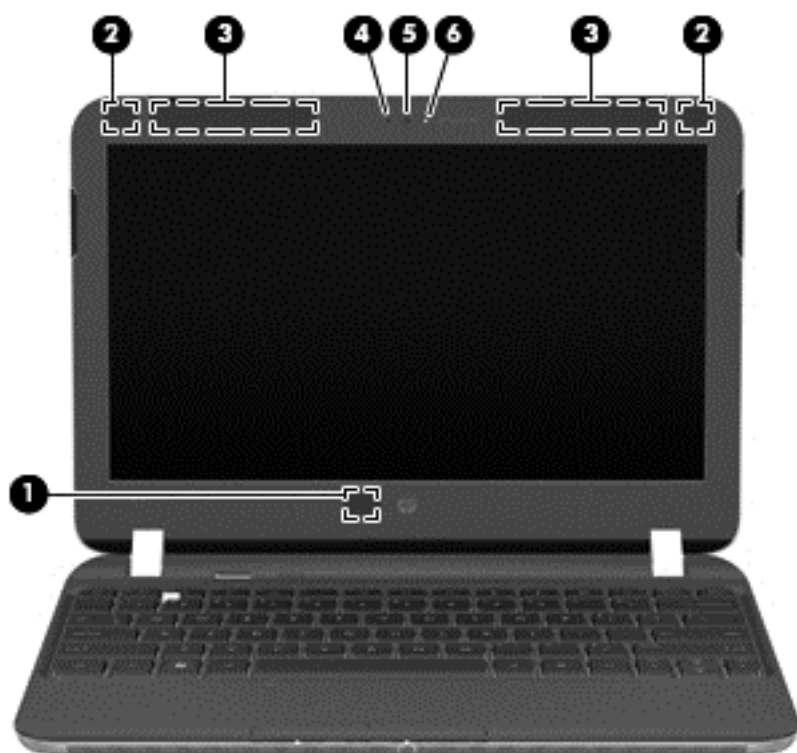
名称	説明
スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部

名称		説明
(1)	メディア スロット	以下のフォーマットのメディア カードに対応しています • マルチメディアカード • SD（Secure Digital）メモリーカード • SDXC（Secure Digital Extended Capacity）メモリーカード • SDHC（Secure Digital High Capacity）メモリーカード
(2)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売または市販の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオ ケーブルなどを接続します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(3)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売または市販のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(4)	USB 2.0 ポート（×2）	別売の USB デバイスを接続します **注記：** 各種 USB ポートについて詳しくは、43 ページの「USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用」を参照してください
(5)	外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(6)	RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

左側面の各部

名称			説明
(1)		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(2)		AC アダプター ランプ	● 白色： AC アダプターが接続されていて、バッテリは充電済みです ● オレンジ色： AC アダプターが接続されていて、バッテリが充電中です ● 消灯： コンピューターは DC 電源を使用しています
(3)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		ハードドライブ ランプ	● 白色で点滅：ハードドライブにアクセスしています ● オレンジ色に点灯：[HP 3D DriveGuard]によってハードドライブが一時停止しています 注記： [HP 3D DriveGuard]について詳しくは、54 ページの「[HP 3D DriveGuard]の使用（一部のモデルのみ）」を参照してください
(6)	HDMI	HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの市販のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタル コンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(7)	SS	USB 3.0 ポート	別売の USB 3.0 デバイスを接続します。拡張された USB の強力なパフォーマンスが引き出されます 注記： 各種 USB ポートについて詳しくは、43 ページの「USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用」を参照してください

ディスプレイの各部

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れてスリープが開始します 注記： 内蔵ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
(2)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(3)	無線 WAN アンテナ（×2）*（一部のモデルのみ）	無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
(4)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(5)	Web カメラ	動画の録画、静止画像の撮影、および、動画のストリーミングによるビデオ会議やオンライン チャットができます Web カメラを使用するには、スタート画面で「c」と入力して[**CyberLink YouCam**]を選択します
(6)	Web カメラ ランプ	Web カメラの使用中に点灯します

* アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの国または地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

表面の各部

タッチパッドの各部

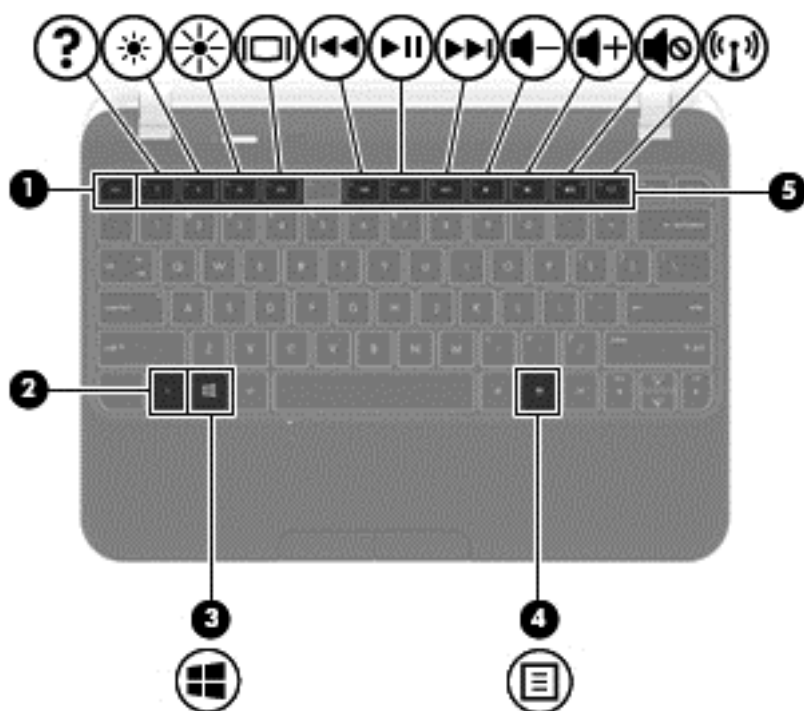
名称		説明
(1)	タッチパッド ランプ	• 点灯:タッチパッドがオフになっています • 消灯:タッチパッドがオンになっています
(2)	タッチパッド オン/オフ切り替え機能	タッチパッドをオンまたはオフにします
(3)	タッチパッド ゾーン	画面上のポインターを動かして、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

ランプ

名称			説明
(1)	⏻	電源ランプ	• 点灯：コンピューターの電源がオンになっています • 点滅：コンピューターがスタンバイ モードで、省電力モードになっています。ディスプレイおよびその他の不要なコンポーネントの電源はオフになっています • 消灯：コンピューターの電源がオフか、ハイバネーション状態になっています。ハイバネーションは、最小限の電力を使用する省電力モードです
(2)		ミュート（消音）ランプ	• オレンジ色：コンピューターのサウンドがオフになっています • 消灯：コンピューターのサウンドがオンになっています
(3)		無線ランプ	• 白色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています • オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(4)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっていて、アルファベットが大文字で入力されます
(5)		タッチパッド ランプ	• 点灯：タッチパッドがオフになっています • 消灯：タッチパッドがオンになっています

ボタン

名称			説明
(1)	⏻	電源ボタン	• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります • コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます • コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します • コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します 注意：　電源ボタンを押し続けると、保存されていない情報は失われます コンピューターが応答せず、Microsoft Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しくは、スタート画面で「コントロール」と入力し、[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**電源オプション**]の順に選択するか、35 ページの「電源の管理」を参照してください。
(2)	🌐	Web ブラウザー ボタン	コンピューターが Microsoft Windows を実行しているときにこのボタンを押すと、初期設定の Web ブラウザーが起動します

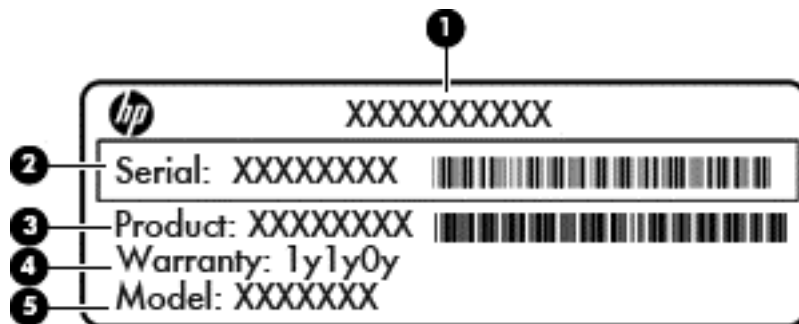
キー

名称			説明
(1)		esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2)		fn キー	b キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	スタート画面を表示します
(4)		Windows アプリケーション キー	選択したオブジェクトのオプションを表示します
(5)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します

裏面の各部

名称			説明
(1)		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(2)		SIM スロット（一部のモデルのみ）	無線 SIM（Subscriber Identity Module）カードに対応しています。SIM スロットは、バッテリ ベイの中にあります
(3)		バッテリ/底面カバー ラッチ	バッテリをバッテリ ベイから取り外したり、コンピューターから底面カバーを取り外したりするときに使用します
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		底面カバー	ハードドライブ、メモリ モジュール スロット、SIM スロット（一部のモデルのみ）、および無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）モジュールが格納されています

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。これらのラベルは、容易に確認できる場所に貼付されています。

- サービス ラベル：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。

名称	
(1)	製品名
(2)	シリアル番号
(3)	製品番号
(4)	保証期間
(5)	モデルの説明（一部のモデルのみ）

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。サービス ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。無線デバイスを 1 つ以上使用している機種には、認定ラベルが 1 つ以上貼付されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、底面カバーの裏に貼付されています。

3　ネットワークへの接続

お使いのコンピューターは、どこへでも持ち運べます。しかし、自宅にいるときでも、コンピューターを有線または無線ネットワークに接続して使用すれば、世界中を検索して何百万もの Web サイトの情報にアクセスできます。この章では、ネットワークで世界と接続する方法について説明します。

無線ネットワークへの接続

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、コンピューターのモバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている情報および Web サイトへのリンクを参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタン、無線スイッチ、または無線キー（この章ではこれらすべてを無線ボタンと呼びます）
- オペレーティング システムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1 つ以上の無線デバイス、1 つまたは 2 つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっているため、コンピューターの電源を入れると白い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個一のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが点灯している場合は、少なくとも 1 つの無線デバイスがオンになっています。無線ランプが消灯している場合は、すべての無線デバイスがオフになっています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。

オペレーティング システムの制御機能の使用

[ネットワークと共有センター]では、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

オペレーティング システムの制御機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「ネットワーク」と入力します。
2. **[設定]**→**[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。

詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力してヘルプとサポートを選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

注記： 無線ルーターと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

インターネット サービス プロバイダー（ISP）の使用

自宅でインターネット アクセスをセットアップする場合は、インターネット サービス プロバイダー（ISP）のアカウントを設定する必要があります。インターネット サービスの申し込みおよびモデムの購入については、利用する ISP に問い合わせてください。ほとんどの ISP が、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業に関するサポートを提供しています。

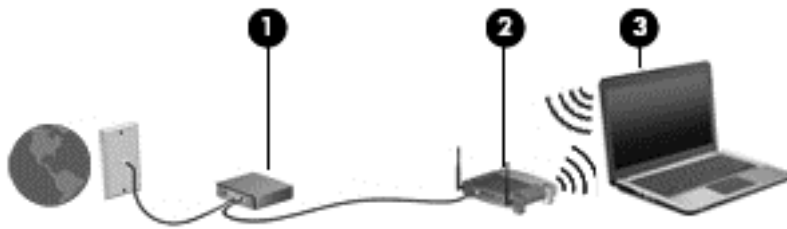
注記： インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（**2**）（別売）
- 無線コンピューター（**3**）

注記： 一部のモデムには、無線ルーターが内蔵されています。モデムの種類については、ISP に問い合わせて確認してください。

以下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークの設置例を示しています。

お使いのネットワークを拡張する場合、新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加してインターネットに接続できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線ルーターの設定

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元またはインターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供されている情報を参照してください。

注記： 最初に、ルーターに付属しているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに接続することをおすすめします。コンピューターが正常にインターネットに接続できることを確認したら、ケーブルを外し、無線ネットワークを介してインターネットにアクセスします。

無線 LAN の保護

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。無線 LAN スポットと呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、機密性の低い電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線信号はネットワークの外に出てしまうため、保護されていない信号を他の無線 LAN デバイスに拾われる可能性があります。事前に以下のような対策を取ることで無線 LAN を保護します。

- ファイアウォールを使用する

  ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄します。利用できるファイアウォールには、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせて使用します。

- 無線を暗号化する

無線の暗号化では、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。デバイスがオンになっている場合は、無線ランプが点灯します。無線ランプが点灯していない場合は、無線ボタンを押します。

   注記： モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合にオレンジ色のランプが点灯します

2. デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にある[**ネットワークの状態**]アイコンをクリックします。
3. 一覧から接続する無線 LAN を選択します。
4. [**接続**]をクリックします。

   無線 LAN がセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[**OK**]を選択して接続を完了します。

   注記： 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいる可能性があります。

   注記： 接続したい無線 LAN が表示されない場合は、[ネットワークと共有センター]を開きます。[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、スタート画面で「ネットワーク」と入力します。**設定**→[**ネットワークと共有センター**]の順に選択します。[**新しい接続またはネットワークのセットアップ**]を選択します。オプションの一覧が表示されて、手動で検索してネットワークに接続したり、新しいネットワーク接続を作成したりするなどの操作を選択できます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

注記： 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の機器の数や配置などの展開状況、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマート フォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）
- マウス

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

有線ネットワークへの接続

有線 LAN 接続では別売のネットワーク ケーブルを使用します。

⚠ **警告！** 火傷や感電、火災、および装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

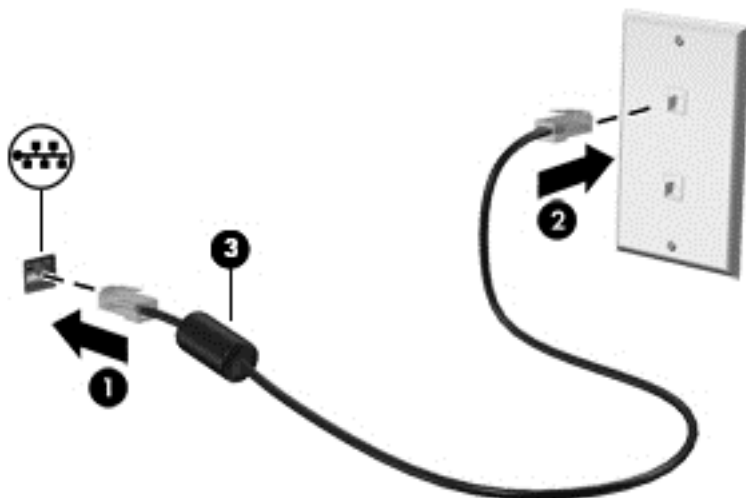
ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続

コンピューターを自宅のルーターに直接接続する（無線で作業しない）場合、または会社の既存のネットワークに接続する場合は、LAN 接続を使用します。

LAN に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブルを使用する必要があります。

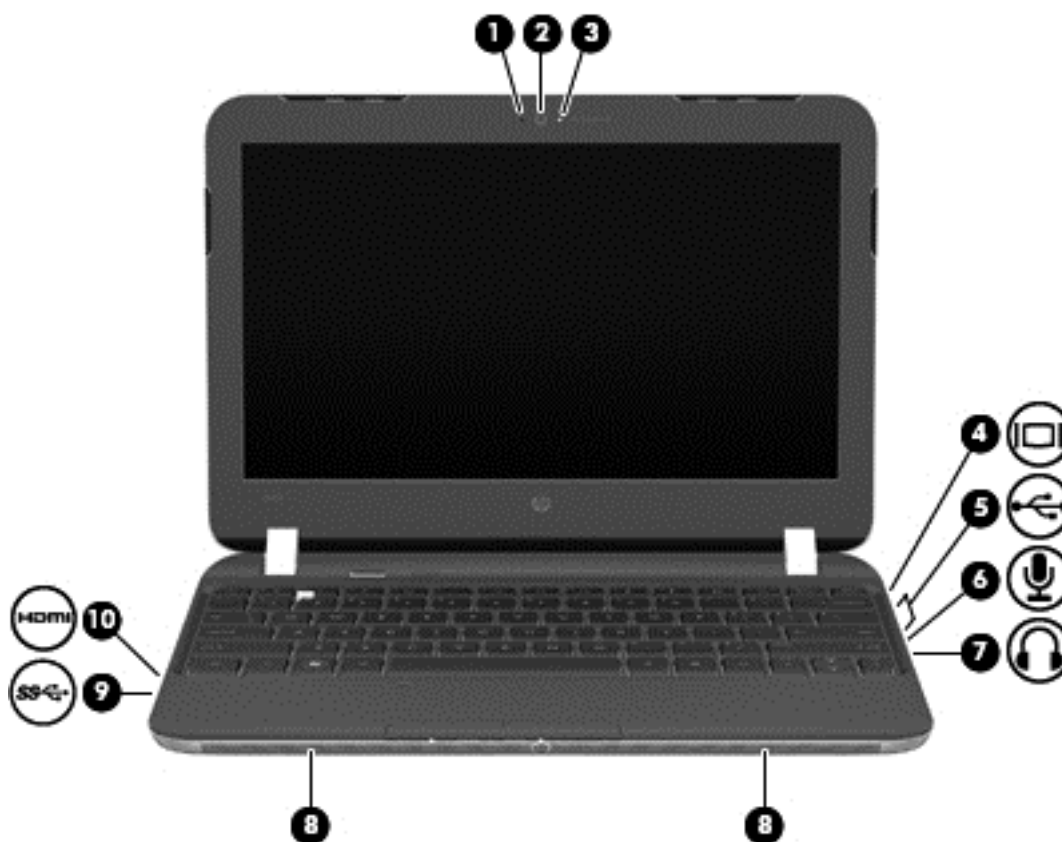
ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます（**1**）。
2. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントまたはルーターに差し込みます（**2**）。

注記： ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（**3**）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端をコンピューター側に向けます。

4　エンターテイメント機能を楽しむ

お使いのコンピューターをエンターテイメントのハブとして使用して、Web カメラを使ったソーシャル ネットワーキングを行ったり、音楽の再生や管理をしたり、映画のダウンロードや視聴を行ったりできます。さらに強力なエンターテイメント センターにするには、スピーカー、ヘッドフォン、モニター、プロジェクター、テレビ、さらに一部のモデルでは HD 対応デバイスなどの外付けデバイスを接続します。

マルチメディア機能

コンピューターのエンターテイメント機能のいくつかを以下に示します。

名称		説明
(1)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(2)	HP TrueVision Web カメラ	動画の録画、静止画像の撮影、および、動画のストリーミングによるビデオ会議やオンライン チャットができます スタート画面で「c」と入力し、アプリケーションの一覧から[**CyberLink YouCam**]を選択します
(3)	Web カメラ ランプ	Web カメラの使用中に点灯します

名称			説明
(4)		外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(5)		USB 2.0 ポート（×2）	別売の USB デバイスを接続します **注記：** 各種 USB ポートについて詳しくは、43 ページの「USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用」を参照してください
(6)		オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売または市販のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(7)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売または市販の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオ ケーブルなどを接続します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください
(8)		スピーカー	サウンドを出力します
(9)		USB 3.0 ポート	別売りの USB 3.0 デバイスを接続します。拡張された USB の強力なパフォーマンスが引き出されます **注記：** 各種 USB ポートについて詳しくは、43 ページの「USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用」を参照してください
(10)		HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、対応するデジタル コンポーネントやオーディオ コンポーネント、または高速 HDMI デバイスを接続します

Web カメラの使用

お使いのコンピューターには、ソーシャル ネットワーキングの強力なツールである Web カメラが内蔵されています。Web カメラを使用すると、すぐ隣にいる友人や同僚とも、地球の裏側にいる友人や同僚とも、同じように間近に感じるコミュニケーションが取れます。Web カメラを使用すると、インスタント メッセージ ソフトウェアによる動画のストリーミング、動画の撮影や共有、および静止画像の撮影が行えます。

▲ コンピューターのスタート画面から Web カメラを起動するには、「c」と入力して［**CyberLink YouCam**］を選択します。

Web カメラの使用方法について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して［**ヘルプとサポート**］を選択します。

オーディオの使用

お使いのコンピューターでは、音楽 CD の再生、音楽のダウンロードや再生、Web 上のオーディオ コンテンツ（ラジオなど）のストリーミング、オーディオの録音、オーディオとビデオの組み合わせによるマルチメディアの作成などが可能です。オーディオを聴く楽しみを広げるには、スピーカーやヘッドフォンなどの外付けオーディオ デバイスを接続します。

スピーカーの接続

有線のスピーカーをコンピューターに接続する場合は、コンピューターまたはドッキング ステーションの USB ポート（またはオーディオ出力コネクタ）に接続します。

無線スピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に沿って操作してください。HD 対応スピーカーをコンピューターに接続するには、24 ページの「オーディオの設定（HDMI 対応テレビの場合）」を参照します。オーディオ デバイスを接続する前に、必ず音量を調整してください。

ヘッドフォンの接続

有線のヘッドフォンは、コンピューターのヘッドフォン コネクタに接続できます。

無線のヘッドフォンまたはスピーカーをコンピューターに接続するには、デバイスの製造元の説明書に従って操作してください。

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

マイクの接続

オーディオを録音するには、コンピューターのマイク コネクタにマイクを接続します。良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

[HP Beats Audio]の使用

[HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ機能です。

[Beats Audio Control Panel]（HP Beats Audio コントロール パネル）の操作

[Beats Audio Control Panel]を使用すると、オーディオおよび低音設定を表示し、手動で調整できます。

▲ [HP Beats Audio Control Panel]（HP Beats Audio コントロール パネル）を開くには、スタート画面で「コントロール」と入力し、[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**Beats Audio Control Panel**]の順に選択します。

[HP Beats Audio]の有効化および無効化

▲ [HP Beats Audio]を有効または無効にするには、fn キーと b キーを一緒に押します。.

サウンドの確認

お使いのコンピューターのオーディオ機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して[**コントロール パネル**]を選択します。
2. [**ハードウェアとサウンド**]→[**サウンド**]の順に選択します。
3. [サウンド]ウィンドウが開いたら、[**サウンド**]タブを選択します。[**プログラム イベント**]でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、[**テスト**]をクリックします。

   スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

お使いのコンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「サウンド」と入力して[**サウンド レコーダー**]を選択します。
2. [**録音の開始**]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. マルチメディア プログラムを開き、録音内容を再生します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して[**コントロール パネル**]を選択します。
2. [**ハードウェアとサウンド**]→[**サウンド**]の順に選択します。

動画の視聴

お使いのコンピューターは強力なビデオ デバイスであり、お気に入りの Web サイトの動画のストリーミングを視聴したり、動画や映画をあらかじめダウンロードしてネットワークにアクセスせずにコンピューター上で視聴したりできます。

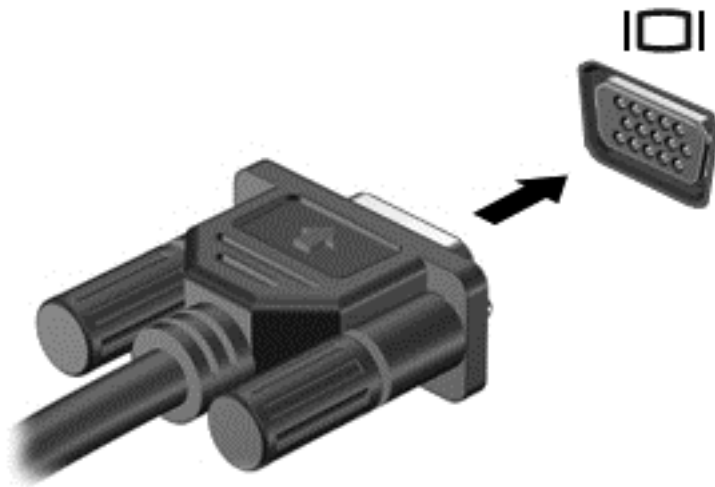
コンピューターのビデオ コネクタのどれかに外付けモニター、プロジェクター、またはテレビを接続することで、視聴の楽しみが広がります。お使いのコンピューターには、HDMI（High-Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されており、HD 対応のモニターまたはテレビに接続できます。

重要： 外付けデバイスが、正しいケーブルを使用してコンピューター上の正しいコネクタに接続されていることを確認してください。不明点や疑問点がある場合は、デバイスの製造販売元の説明を確認してください。

VGA モニターまたはプロジェクターの接続

コンピューターの表示画面をモニターやプロジェクターなどの外付けの VGA モニターまたはプロジェクターに切り替えてプレゼンテーションを行うには、モニターまたはプロジェクターをコンピューターの VGA コネクタに接続します。

モニターまたはプロジェクターを接続するには、以下の操作を行います。

1. モニターまたはプロジェクターとコンピューターの VGA コネクタを、以下の図のように VGA ケーブルで接続します。

2. f4 キーを押すと、表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。
   - **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
   - **重複**： コンピューターと外付けデバイスの両方の表示画面を同時に表示します。
   - **拡張**： コンピューターと外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
   - **セカンド ディスプレイのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

   f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

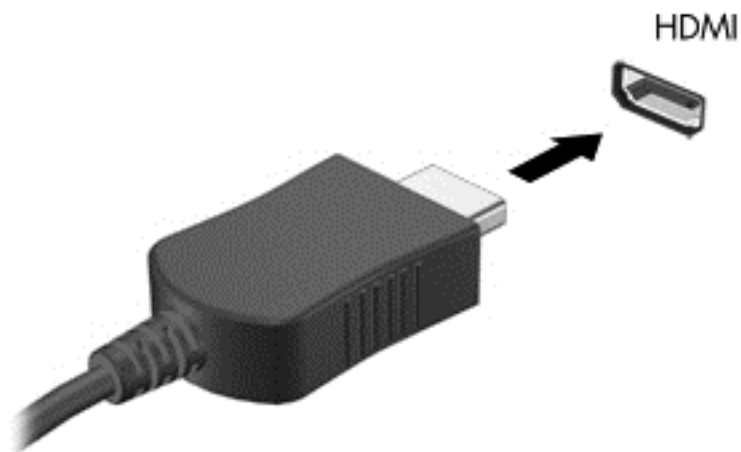
注記： 特に「拡張」オプションを選択した場合に、外付けデバイスの解像度を調整してください。スタート画面で「コントロール」と入力して[**コントロール パネル**]を選択します。[**デスクトップのカスタマイズ**]を選択します。最適な解像度にするには、[**ディスプレイ**]で[**画面の解像度の調整**]を選択します。

HDMI 対応のテレビまたはモニターの接続

HD 対応のテレビまたはモニターでコンピューターの表示画面を見るには、以下の手順に従って HD 対応のデバイスを接続します。

HDMI デバイスをコンピューターに接続するには、別売の HDMI ケーブルが必要です。

HD 対応のテレビまたはモニターをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。

2. ケーブルのもう一方の端を HD 対応のテレビまたはモニターに接続します。

3. f4 キーを押すと、コンピューターの表示画面が以下の 4 つの表示状態の間で切り替わります。

   - **PC 画面のみ**：コンピューター本体の画面にのみ表示します。
   - **重複**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方の画面に同時に表示します。
   - **拡張**：コンピューター本体および外付けデバイスの両方にわたって画像を拡張します。
   - **セカンド ディスプレイのみ**：外付けデバイスの画面にのみ表示します。

   f4 キーを押すたびに、表示状態が切り替わります。

注記： 特に「拡張」オプションを選択した場合に、外付けデバイスの解像度を調整してください。スタート画面で「コントロール」と入力して[**コントロール パネル**]を選択します。[**デスクトップのカスタマイズ**]を選択します。最適な解像度にするには、[**ディスプレイ**]で[**画面の解像度の調整**]を選択します。

オーディオの設定（HDMI 対応テレビの場合）

HDMI は、HD 対応のビデオとオーディオをサポートする唯一のビデオ インターフェイスです。HDMI 対応のテレビをコンピューターに接続した後、以下の操作を行って HDMI オーディオをオンにできます。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**スピーカー**]アイコンを右クリックし、[**再生デバイス**]をクリックします。
2. [**再生**]タブで、デジタル出力デバイスの名前をクリックします。
3. [**既定値に設定**]→[**OK**]の順にクリックします。

オーディオのストリーミングをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[**スピーカー**]アイコンをタップするか右クリックし、[**再生デバイス**]を選択します。
2. [**再生**]タブで、[**スピーカーとヘッドホン**]を選択します。
3. [**既定値に設定**]→[**OK**]の順にクリックします。

オーディオ ファイルおよびビデオ ファイルの管理

[CyberLink PowerDVD]を使用すると、写真やビデオのコレクションを管理および編集できます。

▲ コンピューターのスタート画面から[CyberLink PowerDVD]を起動するには、「c」と入力して［**CyberLink PowerDVD**］を選択します。[CyberLink PowerDVD]の使用方法について詳しくは、[CyberLink PowerDVD]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

5　タッチ ジェスチャ、ポインティング デバイス、およびキーボードを使用した移動

お使いのコンピューターでは、キーボードとマウスに加え、タッチ ジェスチャ（一部のモデルのみ）を使用して操作できます。タッチ ジェスチャは、コンピューターのタッチパッド上またはタッチ スクリーン上（一部のモデルのみ）で使用できます。

注記：　外付け USB マウス（別売）は、コンピューターの USB ポートのどれかに接続できます。

お使いのコンピューターに付属している『Windows 8 の基本操作』ガイドを参照してください。このガイドには、タッチパッド、タッチ スクリーン、またはキーボードを使用した一般的な操作に関する情報が記載されています。

一部のモデルのコンピューターのキーボードには、通常のタスクを実行するための特殊な操作キーまたはホットキー機能も搭載されています。

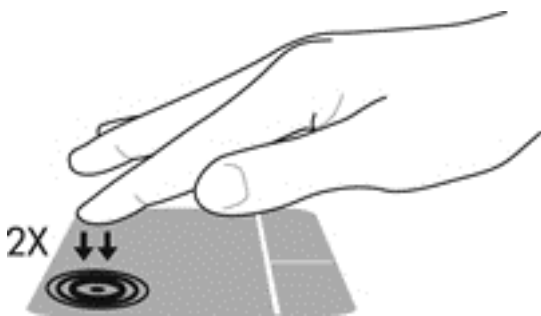
タッチパッドの使用

タッチパッドを使用すると、簡単な指の動きによってコンピューターを操作できます。

設定、ボタンの構成、クリック速度、およびポインター オプションを変更することで、タッチ ジェスチャをカスタマイズできます。スタート画面で「コントロール」と入力します。[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]の順に選択します。[**デバイスとプリンター**]で[**マウス**]を選択します。

タッチパッドのオフ/オンの切り替え

タッチパッドをオフまたはオンにするには、タッチパッドの左上隅のエリアをすばやくダブルタップします。

タッチパッドがオンになっているときは、タッチパッド ランプは消灯しています。

タッチパッドではさまざまな種類のジェスチャがサポートされており、スクロール、スワイプ、ピンチ、回転などを行って画面上の項目を操作できます。

タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドを使用すると、指を使用して画面上でポインターを制御できます。

ヒント：　タッチパッドの左右のボタンは、外付けマウスの対応するボタンと同様に機能します。

注記： アプリケーションによっては、一部のタッチパッド ジェスチャに対応していない場合があります。

各ジェスチャのデモンストレーションを確認するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力します。[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]の順に選択します。
2. [**Synaptics TouchPad**]（シナプティクス タッチパッド）を選択します。
3. ジェスチャをクリックし、デモンストレーションを開始します。

ジェスチャをオンまたはオフにするには、以下の操作を行います。

1. [**Synaptics TouchPad**]画面で、オンまたはオフにするジェスチャの横にあるチェック ボックスにチェックを入れます。
2. [**Apply**]（適用）→[**OK**]の順にクリックします。

タップ

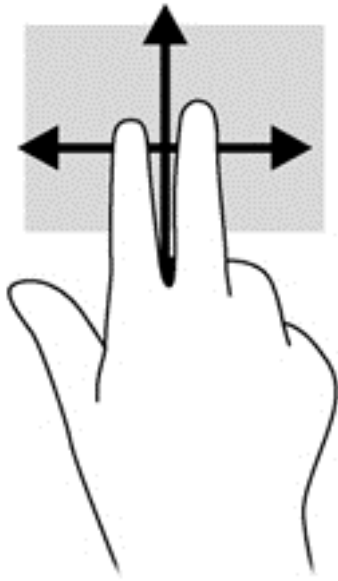
画面上で選択するには、タッチパッド上でタップ機能を使用します。

- 画面上の項目をポイントし、タッチパッド ゾーン上で 1 本の指をタップして選択します。項目を開くには、ダブルタップします。

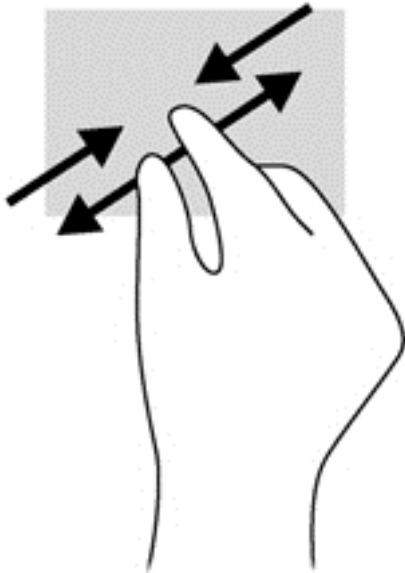
注記： タッチパッド ゾーン上で選択した項目をタップして押したままにすると、その項目に関する情報を提供するヘルプ画面が表示されます。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下左右に動かすときに便利です。

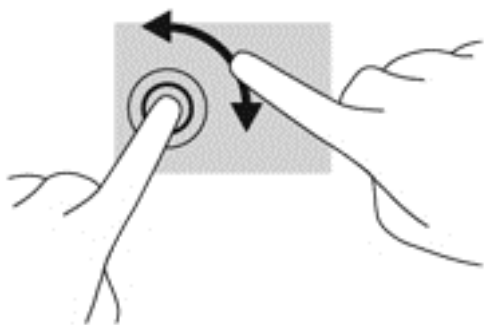
- 2 本の指を少し離してタッチパッド ゾーン上に置き、上下左右の方向にドラッグします。

ピンチ/ズーム

ピンチ/ズームを使用すると、画像やテキストをズームインまたはズームアウトできます。

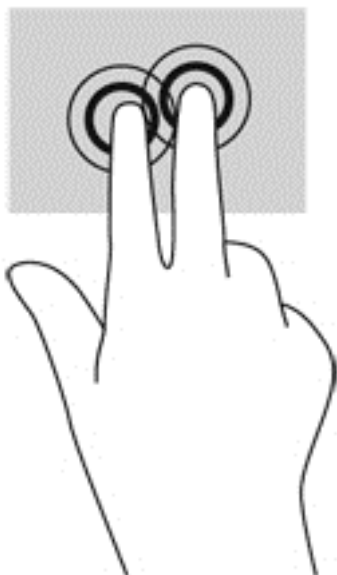
- タッチパッド ゾーン上で 2 本の指を一緒の状態にして置き、その 2 本の指の間隔を拡げるとズームイン（拡大）できます。
- タッチパッド ゾーン上で 2 本の指を互いに離した状態にして置き、その 2 本の指の間隔を狭めるとズームアウト（縮小）できます。

回転（一部のモデルのみ）

回転ジェスチャを使用すると、写真などの項目を回転できます。

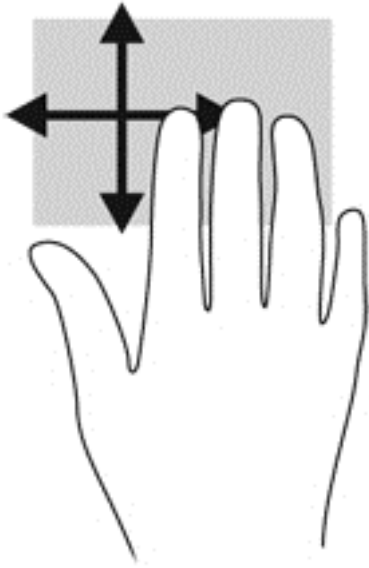
- オブジェクトをポイントし、左手の人差し指をタッチパッド ゾーンに固定します。右手を使用して、人差し指を 12 時から 3 時の位置へと弧を描きながらスライドさせます。逆方向へと回転させるには、人差し指を 3 時から 12 時の方向に動かします。

注記： 回転は、オブジェクトまたは画像の操作が可能な専用アプリケーションのための機能です。一部のアプリケーションでは、回転が機能しない場合があります。

2 本指クリック（一部のモデルのみ）

2 本指クリックを使用すると、画面上のオブジェクトのメニューを選択できます。

- 2 本の指をタッチパッド ゾーン上に置いて押し続けると、選択したオブジェクトのオプション メニューが表示されます。

フリック（一部のモデルのみ）

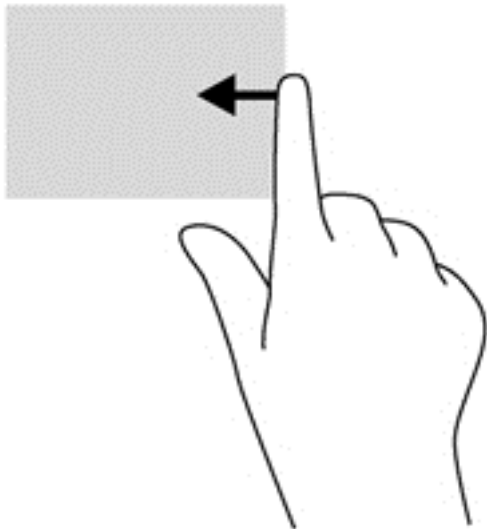
フリック ジェスチャを使用すると、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。

- 3 本の指をタッチパッド ゾーン上に置き、軽く速い動作で上下左右に指を払うように動かします。

エッジ スワイプ

エッジ スワイプを使用すると、設定の変更やアプリケーションの検索および使用などのタスクを実行できます。

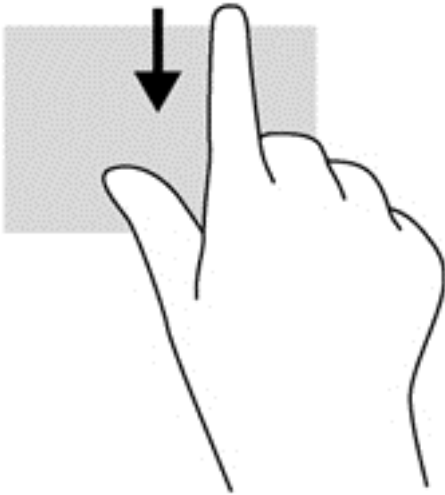
右端スワイプ

右端スワイプを使用すると、チャームを表示して、検索、共有、アプリケーションの起動、デバイスへのアクセス、設定の変更などを実行できます。

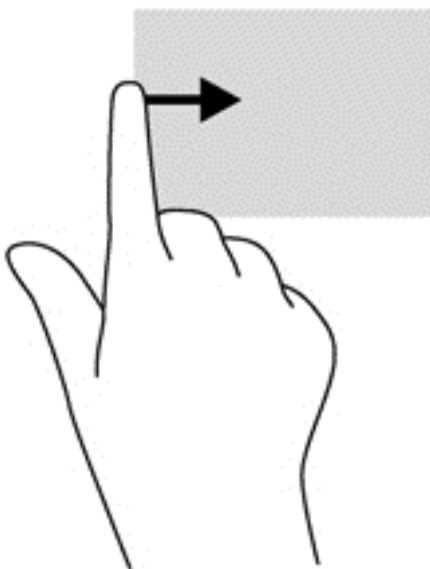
- 右端から指をゆっくり滑らせて、チャームを表示します。

上端スワイプ

上端スワイプを使用すると、スタート画面で使用できる[**すべてのアプリ**]にアクセスできます。

重要： 上端ジェスチャの操作結果は、アクティブになっているアプリケーションによって異なります。

- 上端から指をゆっくりスライドさせて、利用可能なアプリケーションを表示します。

左端スワイプ

左端スワイプを使用すると、開いているアプリケーションを表示してアプリケーションをすばやく切り替えられます。

- 指をタッチパッドの左端からスライドさせて、アプリケーションを切り替えます。

キーボードおよびマウスの使用

キーボードおよびマウスを使用すると、文字の入力、項目の選択、およびスクロールができ、タッチジェスチャを使用する場合と同じ機能の実行が可能です。キーボードを使用すると、操作キーおよびホットキーを使って特定の機能も実行できます。

ヒント： キーボードの Windows ロゴ キー を使用すると、開いているアプリケーションや Windows デスクトップからスタート画面にすばやく戻ることができます。もう一度 Windows ロゴ キーを押すと、前の画面に戻ります。

注記： 国または地域によっては、キーボードに含まれるキーおよびキーボード機能がこの項目での説明と異なる場合もあります。

キーの使用

お使いのコンピューターでは、一部のキーおよびキーの組み合わせを使用して、さまざまな方法ですばやく情報にアクセスしたり機能を実行したりできます。

操作キーの使用

操作キーを押すと、割り当てられている機能が実行されます。f1～f4 および f6～f12 の各キーのアイコンは、操作キーに割り当てられている機能を表します。

操作キーの機能を使用するには、そのキーを押したままにします。

操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）で無効にできます。セットアップ ユーティリティ（BIOS）を開いたときの手順については、65 ページの「セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断の使用」を参照し、画面下部の説明に沿って操作してください。

操作キーの機能を無効にした後に、出荷時に割り当てられていた機能を実行するには、fn キーを押しながら実行する機能が割り当てられていた操作キーを押す必要があります。

注意： セットアップ ユーティリティで設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

アイコン	キー	説明
?	f1	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、チュートリアル、Windows オペレーティング システムとコンピューターに関する情報、質問への回答、およびコンピューターへのアップデート ファイルなどが提供されます また､自動トラブルシューティング ツールおよびサポート窓口へのアクセスも提供されます
	f2	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	f3	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	f4	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合は、このキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。この操作キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます

アイコン	キー	説明
	f6	オーディオ CD の前のトラックまたは DVD や BD の前のチャプターを再生します
	f7	オーディオ CD、DVD、または BD の再生を開始、一時停止、または再開します
	f8	オーディオ CD の次のトラックまたは DVD や BD の次のチャプターを再生します
	f9	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	f10	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	f11	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	f12	無線機能をオンまたはオフにします 注記： 無線接続を確立するには、事前に無線ネットワークがセットアップされている必要があります

Microsoft Windows 8 のショートカット キーの使用

Microsoft Windows 8 には、操作をすばやく実行できるショートカットが用意されています。複数のショートカットが Windows 8 の機能で使用できます。操作を実行するには、Windows ロゴ キー

とショートカット キーを一緒に押します。

Windows 8 のショートカット キーについて詳しくは、[**ヘルプとサポート**]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

ショートカット キー

ショートカットキー		キー	説明
			開いているアプリケーションまたはデスクトップからスタート画面に戻ります。もう一度キーを押すと、前の画面に戻ります
	+	c	チャームが開きます
	+	d	デスクトップが開きます
	+	タブ	開いているアプリケーションを切り替えます 注記： 目的のアプリケーションが表示されるまで、このキーを一緒に押し続けます
alt	+	f4	アクティブなアプリケーションが閉じられます。操作キーの設定により実行される操作が異なります。詳しくは「操作キーの使用」を参照してください。

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キーと、esc キー、b キー、またはスペースバーの組み合わせです。

ホットキーを使用するには、以下の操作を行います。

▲ fn キーを短く押し、次にホットキーの組み合わせの 2 番目のキーを短く押します。

機能	ホットキー	説明
システム情報の表示	fn + esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます
低音設定の調整	fn + b	[HP Beats Audio]の低音設定を有効または無効にします [HP Beats Audio]とは、クリアなサウンドを維持しながら制御された低音を提供する拡張オーディオ機能です。[HP Instant Web]は、初期設定で有効に設定されています 低音設定の表示と調整は Windows オペレーティング システムでも行うことができます。低音のプロパティを表示して調整するには、以下の操作を行います スタート画面で「コ」と入力して、アプリケーションの一覧から[**コントロール パネル**]を選択します。[**ハードウェアとサウンド**]→[**Beats Audio Control Panel**]（HP Beats Audio コントロール パネル）の順に選択します

6 電源の管理

お使いのコンピューターは、バッテリ電源または外部電源で動作できます。コンピューターがバッテリ電源でのみ動作しており、外部電源を使用してバッテリを充電することができない場合は、バッテリ残量を監視し、節約することが重要です。お使いのコンピューターでは、電源を使用したり節電したりする方法を管理できる電源プランがサポートされているため、コンピューターのパフォーマンスと節電のバランスを取ることができます。

重要： 出荷時にコンピューターに装着されているバッテリは、ご自身で取り外したり交換したりしないでください。

お使いのコンピューターに装着されている充電式バッテリは内蔵型で、ユーザーが着脱するタイプのものではありません。バッテリの交換は、必ず HP のサポート担当者にご依頼ください。バッテリは消耗品です。バッテリの寿命は使用環境により異なりますが、使用開始から 1 年が目安となり、使用を繰り返すと徐々に劣化して、バッテリ容量が低下していきます。バッテリの状態を監視する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP ヘルプとサポート]で[HP バッテリ チェック]を実行してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力し、アプリケーションの一覧から[**ヘルプとサポート**]を選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換についてサポート窓口にお問い合わせください。

スリープおよびハイバネーションの開始

Microsoft Windows には、スリープとハイバネーション（休止状態）の 2 つの省電力設定があります。

- [スリープ]：バッテリ電源を使用しているときも外部電源を使用しているときも操作しない状態が一定時間続いた場合に、スリープ状態が自動的に開始されます。作業中のデータはメモリに保存されるため、非常に迅速に作業に戻れます。スリープは手動で開始することもできます。詳しくは、35 ページの「スリープの開始および終了」を参照してください。
- [ハイバネーション]：完全なロー バッテリ状態になると、ハイバネーション状態が自動的に開始されます。ハイバネーション状態では、データがハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

注記： ハイバネーションを手動で開始する場合は、[電源オプション]を使用してハイバネーションを有効にする必要があります。詳しくは、36 ページの「ユーザーによるハイバネーションの有効化および終了」を参照してください。

注意： オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスリープを開始しないでください。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

スリープの開始および終了

コンピューターの電源が入っているときにスリープを開始するには、以下のどれかの操作を行います。

- ディスプレイを閉じます。
- スタート画面で、画面の右上隅または右下隅をポイントします。チャームの一覧を開くには、[**設定**]→[**電源**]アイコン→[**スリープ**]の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下の操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開きます。
- キーボードのキーを押します。
- タッチパッドで、タップするか指を滑らせます。

コンピューターがスリープを終了すると電源ランプが点灯し、コンピューターの画面は作業を中断した時点に戻ります。

注記： 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ユーザーによるハイバネーションの有効化および終了

以下のように、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して、ユーザーによるハイバネーションの開始を有効にしたり、その他の電源設定およびタイムアウトを変更したりできます。

1. スタート画面で「コントロール」と入力し、[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**電源オプション**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**電源ボタンの動作の選択**]をクリックします。
3. [**現在利用可能ではない設定を変更します**]をクリックします。
4. [**電源ボタンを押したときの動作**]領域で、[**休止状態**]を選択します。
5. [**変更の保存**]をクリックします。

ハイバネーションを終了するには、電源ボタンを短く押します。電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープ状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「コントロール」と入力して、[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**電源オプション**]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[**スリープ解除時のパスワード保護**]を選択します。
3. [**現在利用可能ではない設定を変更します**]をクリックします。
4. [**パスワードを必要とする （推奨）**]をクリックします。

   注記： ユーザー アカウントを作成したり、現在のユーザー アカウントを変更したりする場合は、[**ユーザー アカウント パスワードの作成または変更**]をクリックしてから、画面に表示される説明に沿って操作します。
5. [**変更の保存**]をクリックします。

電源メーターおよび電源設定の使用

電源メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。電源メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリ充電残量を表示したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、Windows デスクトップで、ポインターを[電源メーター]アイコンの上に重ねます。
- 電源オプションを使用したり、電源プランを変更したりするには、[電源メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。スタート画面で「電源」と入力して、**[設定]**→**[電源オプション]**の順に選択することもできます。

コンピューターがバッテリ電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[電源メーター]アイコンの外観の違いで判断できます。アイコンには、バッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合にそのメッセージも表示されます。

電源プランの選択

コンピューターの電源の使用方法を管理する電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。電源プランを変更するには、スタート画面で「コントロール」と入力して、**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[電源オプション]**の順に選択します。

以下の電源プランを利用できます。

- **バランス（推奨）**：対応するハードウェアで自動的にパフォーマンスとエネルギー消費量のバランスを取ります。
- **省電力**：システムのパフォーマンスと画面の輝度を低下させることによって電力を節約します。
- **高パフォーマンス**：パフォーマンスを優先しますが、エネルギー消費量が増える可能性があります。この電源プランを使用すると、充電から次の充電までのバッテリ寿命が短くなります。この電源プランを選択するには、**[追加プランの表示]**をクリックします。

また、独自の電源プランを作成したり、その電源プランをニーズに合わせてカスタマイズしたりできます。

電源プランを選択するか、独自のプランを作成するには、Windows の[コントロール パネル]を使用します。

[コントロール パネル]の[電源オプション]にアクセスするには、スタート画面で「コントロール」と入力します。**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[電源オプション]**の順に選択します。一覧から電源プランを選択します。

バッテリ電源での駆動

充電済みのバッテリが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作し、バッテリ電源を節約するために画面の輝度が下がります。バッテリをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリは徐々に放電していきます。

コンピューターのバッテリは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

出荷時に装着されているバッテリ

バッテリの状態を監視する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP Support Assistant]で[HP バッテリ チェック]を実行してください。バッテリに関する情報にアクセスするには、スタート画面で［**HP Support Assistant**］アプリケーション→［**バッテリおよびパフォーマンス**］の順に選択します。[HP バッテリ チェック]にバッテリを交換する必要があると表示されている場合は、使用を中止し、バッテリの交換について HP のサポート窓口にお問い合わせください。

ユーザーが交換可能なバッテリの取り外し

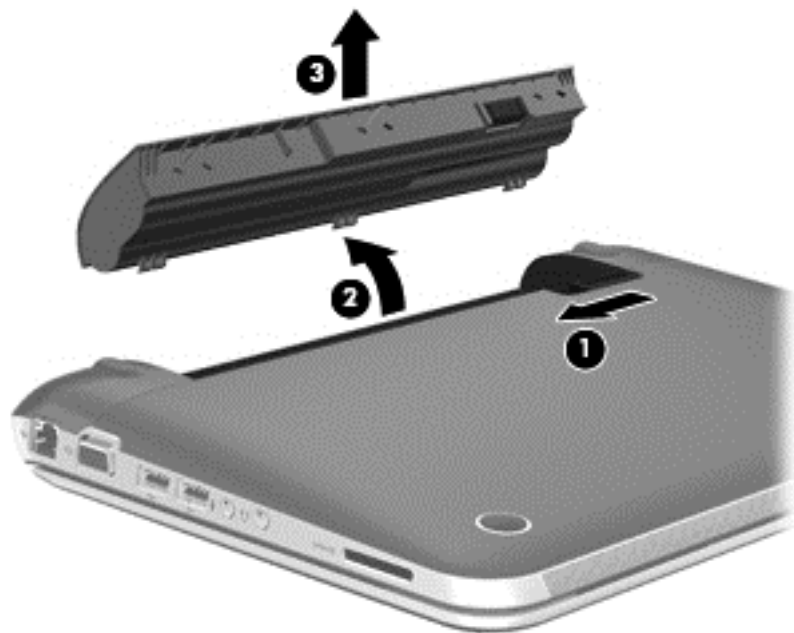
コンピューターにはユーザーが交換可能なバッテリが搭載されている場合があります。

警告！ けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているユーザーが交換可能なバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

注意： コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

1. コンピューターの底面が上になるように、安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**1**）バッテリの固定を解除します。

   注記： バッテリ リリース ラッチは、自動的に元の位置に戻ります。

3. バッテリを回転させるようにして引き上げて（**2**）、コンピューターから取り外します（**3**）。

バッテリに関する情報の確認

バッテリの状態を監視する場合、またはバッテリが充電されなくなった場合は、[HP Support Assistant]で[HP バッテリ チェック]を実行してください。バッテリに関する情報にアクセスするには、スタート画面で［**HP Support Assistant**］アプリケーション→［**バッテリおよびパフォーマンス**］の順に選択します。

[ヘルプとサポート]では、バッテリに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリ テスト
- バッテリの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

バッテリに関する情報にアクセスするには、スタート画面で[**HP Support Assistant**]アプリケーション→[**バッテリおよびパフォーマンス**]の順に選択します。

バッテリの節電

バッテリ寿命の節約および最大化のためのヒントを以下に示します。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]で[**省電力**]設定を選択します。
- 使用していない無線デバイスをオフにします。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、USB ポートに接続している外付けハードドライブなど、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

ロー バッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になった場合は、以下のようになります。

- バッテリ ランプ（一部のモデルのみ）が、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを示します。

  または

- デスクトップの[電源メーター]アイコンが、ロー バッテリ状態または完全なロー バッテリ状態になっていることを通知します。

注記： 電源メーターについて詳しくは、37 ページの「電源メーターおよび電源設定の使用」を参照してください。

完全なロー バッテリの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。
- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。

ロー バッテリ状態の解決

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

- AC アダプターを接続します。
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張デバイスを接続します。
- HP からオプション製品として購入した電源アダプターを接続します。

電源を使用できない場合のロー バッテリ状態の解決

- ハイバネーションを開始します。
- 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリ状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. ユーザーが交換可能な放電したバッテリを充電済みのバッテリに交換するか、AC アダプターをコンピューターおよび外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを押して、ハイバネーションを終了します。

ユーザーが交換可能なバッテリの保管

⚠ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリを取り出して、バッテリの放電を抑えるために気温や湿度の低い場所に別一に保管してください。

保管中のバッテリは 6 か月ごとに点検する必要があります。容量が 50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

ユーザーが交換可能なバッテリの処分

⚠ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリの正しい処分方法については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。ユーザー ガイドを表示するには、スタート画面で[**HP Support Assistant**]アプリケーション→[**マイ コンピューター**]→[**ユーザー ガイド**]の順に選択します。

ユーザーが交換可能なバッテリの交換

[ヘルプとサポート]にある[HP バッテリ チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリ容量が「ロー バッテリ」の状態になったときに、バッテリを交換するようユーザーに通知します。バッテリが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。交換用バッテリの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。

外部電源での駆動

外部電源の接続について詳しくは、コンピューターに付属の『セットアップ手順』ポスターを参照してください。

純正の AC アダプター、または別売のドッキング デバイスや拡張デバイスを使用してコンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターはバッテリ電源を使用しません。

⚠ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターだけを使用してください。

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

- バッテリを充電するか、バッテリ ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- ディスクに情報を書き込む場合（一部のモデルのみ）
- 内蔵ハードドライブが搭載されているコンピューターで[ディスク デフラグ]を実行する場合
- バックアップまたは復元を実行する場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が開始されます。
- ディスプレイの輝度が上がります。
- デスクトップの通知領域にある電源メーター アイコンの形状が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリに切り替わります。
- バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。
- デスクトップの通知領域にある電源メーター アイコンの形状が変わります。

AC アダプターに関するトラブルシューティング

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターからバッテリを取り外します。
3. AC アダプターをコンピューターに接続してから、電源コンセントに接続します。
4. コンピューターの電源を入れます。
   - 電源ランプが点灯した場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
   - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターとコンピューターの接続および AC アダプターと電源コンセントの接続をチェックし、確実に接続されていることを確認します。
   - 確実に接続されているにも関わらず電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

[HP CoolSense]（一部のモデルのみ）

[HP CoolSense] は、コンピューターが静止した状態にないことを自動的に検出し、コンピューターの表面温度が最適な状態に維持されるようにパフォーマンスおよびファンの設定を調整します。

[HP CoolSense]がオフの場合、コンピューターの状態が検出されず、パフォーマンスおよびファンのオプションは初期設定のままになります。そのため、[HP CoolSense]をオンにしたときに比べてコンピューターの表面温度が高くなる可能性があります。

[HP CoolSense]をオンまたはオフにするには、以下の操作を行います。

▲ スタート画面で「コントロール」と入力し、[**コントロール パネル**]→[**ハードウェアとサウンド**]→[**HP CoolSense**]の順に選択します。

コンピューターのシャットダウン（電源切断）

注意： コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合は、コンピューターをシャットダウンします。

- USB コネクタまたはビデオ コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源ボタンでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した以下の手順をおすすめします。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. スタート画面で、画面の右上隅または右下隅をポイントします。[**設定**]をクリックします。[**電源**]アイコンをクリックし、[**シャットダウン**]を選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急手順を記載されている順に試みてください。

- ctrl ＋ alt ＋ delete キーを押してから、画面の右下隅にある[**電源**]アイコンを選択し、[**シャットダウン**]を選択します。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離します。

7　情報の管理と共有

ドライブは、情報の保存、管理、共有、およびアクセスを可能にするデジタル ストレージ デバイスです。お使いのコンピューターには内蔵ハードドライブまたはソリッド ステート ドライブが搭載されており、コンピューターのソフトウェアやオペレーティング システムを格納し、すべての個人用ファイルのためのストレージも提供しています。一部のコンピューターには、CD、DVD、またはブルーレイ ディスク（BD）（一部のモデルのみ）からの読み取りまたは書き込みができる内蔵オプティカル ドライブが搭載されています。

容量または機能を追加する場合は、オプティカル ドライブやハードドライブなどの外付けドライブ（別売）を接続するか、スマートフォンやカメラのデジタル ストレージ カードを直接挿入します。コンピューターの USB（Universal Serial Bus）ポートに USB フラッシュ ドライブを接続すると、すばやいデータ転送も可能になります。デバイスによって、コンピューターの電源を使用して稼働するものもあれば、独自の電源を持っているものもあります。一部のデバイスには、そのデバイスを使用する前にコンピューターにインストールする必要があるソフトウェアが付属しています。

注記： 外付け無線デバイスの接続については、14 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのポートの種類について詳しくは、デバイスに付属している説明書を参照してください。

USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

ほとんどのコンピューターには USB ポートが 1 つ以上あります。これは、このような多用途インターフェイスを使用すると、USB キーボード、マウス、外付けドライブ、プリンター、スキャナー、USB ハブなどの多種多様な外付けデバイスをコンピューターに接続できるからです。

コンピューターには、複数の種類の USB ポートがあります。コンピューターに搭載されている USB ポートの種類については、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。必ず、コンピューターと互換性のあるデバイスを購入してください。

種類	説明
USB 2.0	データを 60 MB/秒で転送します
USB 3.0	データを 640 MB/秒で転送します。また、USB 3.0 ポートは USB 1.0 および 2.0 のデバイスにも対応しています

USB デバイスの接続

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ デバイスの USB ケーブルを USB ポートに接続します。

注記： お使いのコンピューターの USB ポートは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。

デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： 初めて USB デバイスを接続した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージがデスクトップに表示され、アイコンが通知領域に表示されます。

USB デバイスの取り外し

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。

1. 情報を保存し、デバイスに関連するすべてのプログラムを閉じます。

2. デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にあるハードウェアのアイコンをクリックします。**ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す**というメッセージが表示されます。画面に表示される説明に沿って操作します。

電源供給機能付き USB デバイスの接続

注意： 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. デバイスをコンピューターに接続します。

2. デバイスの電源コードをアース付き電源コンセントに差し込みます。

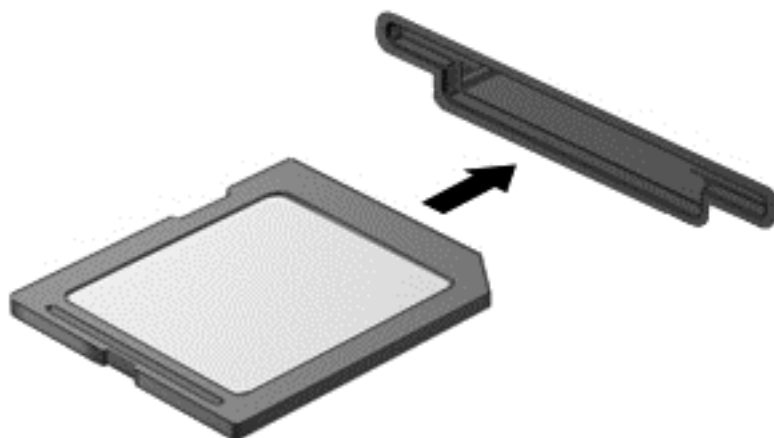
3. デバイスの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けデバイスを取り外すときは、デバイスを停止して、コンピューターから取り外します。別電源が必要な外付けデバイスを取り外すときは、デバイスの電源を切り、コンピューターからデバイスを取り外した後、デバイスの電源コードを抜きます。

デジタル ストレージ カードの挿入と取り出し

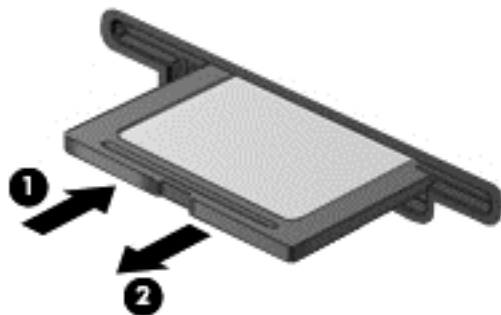
デジタル ストレージ カードを挿入するには、以下の操作を行います。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードを挿入するときは無理な力を加えないでください。

1. カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. デジタル ストレージ スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。

デバイスが検出されると音が鳴ります。

デジタル ストレージ カードを取り出すには、以下の操作を行います。

注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。
2. デスクトップで、タスクバーの右端の通知領域にある[r ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。次に、画面の説明に沿って操作します。
3. カードをいったんスロットに押し込んで（**1**）、固定を解除してから取り出します（**2**）。

注記： カードが出てこない場合は、カードを引いてスロットから取り出します。

オプティカル ドライブの使用

オプティカル ディスク ドライブは、レーザー光を使用して大量の情報を読み取ったり保存したりします。情報の読み取りのみができるドライブもあれば、空のディスクに情報を書き込むことができるドライブもあります。

オプティカル ドライブの最適なパフォーマンスのために、以下のヒントを参考にしてください。

- バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリが十分に充電されていることを確認してください。
- オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。
- ドライブのソフトウェアの最新の更新がインストールされていることを確認してください。
- 使用しているディスクが汚れている場合は、柔らかく乾いた毛羽立たない布で拭いてください。

お使いのコンピューターには、以下のディスク機能のうち 1 つ以上をサポートするオプティカル ドライブが搭載されている場合があります。

- CD：コンパクト ディスクには、オプティカル ディスク ドライブのレーザー光で読み取り可能なデータが格納されています。以下の CD 形式が利用できます。
  - CD-R（CD-Recordable）では、情報の読み取りおよび記録ができますが、記録可能な回数は 1 回のみです。CD-R に情報が記録されると、変更したり消去したりすることはできず、恒久的な記録となります。
  - CD-RW（CD-Re-Writable）では、情報の読み取りおよび記録を何度でも行えます。CD の情報は消去することが可能です。
- DVD：デジタル ビデオ ディスクは大容量のオプティカル ディスクであり、CD よりも大量の情報を保存できます。両面 DVD には最大 17 GB のデータを保存できます。以下の DVD 形式を利用できます。
  - DVD-R または DVD+R（ともに DVD-Recordable）では、情報の読み取りおよび記録ができますが、記録可能な回数は 1 回のみです。ディスクに情報が記録されると、変更したり消去したりすることはできず、恒久的な記録となります。これらの DVD は、DVD±R ドライブで使用できます。
  - DVD-RW または DVD+RW（ともに DVD-Re-Writable）では、情報の読み取りおよび記録を何度でも行えます。ディスク上の情報は消去できます。これらの DVD は、DVD±R ドライブで使用できます。
- BD：ブルーレイ ディスクには、他のオプティカル ディスクよりも多くの情報を保存できて、HD 対応動画の記録、書き換え、再生に使用できます。

BD を使用する場合は、以下の点を参考にしてください。

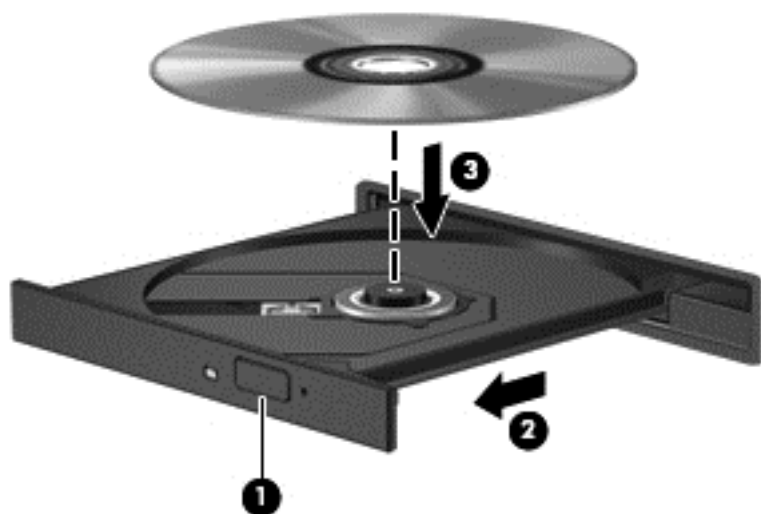
- [CyberLink PowerDVD]はコンピューターにインストールされていて、BD の動画の再生に使用できます。
- BD の動画を内蔵および外付けの両方のディスプレイで同時に再生しようとすると、エラーが発生する場合があるため、どちらか一方のみで再生してください。
- コピー防止の目的から、AACS（Advanced Access Content System）キーはコンピューターに内蔵されています。AACS キーは、BD 動画の新しいリリースの再生に対応するために時一更新する必要があります。[CyberLink PowerDVD]プログラムでは、このような BD 動画のリリースがドライブに挿入された場合に再生を続けるために、更新が必要になります。画面の説明に沿って操作し、更新をインストールします。
- BD の視聴中にディスプレイにラインが入る場合は、無線ネットワークからの電波障害が原因である可能性があります。この問題を解決するには、開いているすべてのアプリケーションを終了してから無線機能をオフにします。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

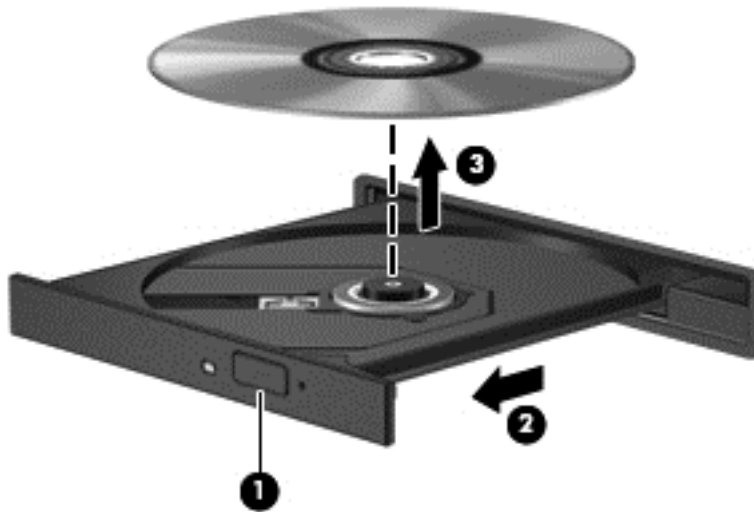
   注記： トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。

6. ディスク トレイを閉じます。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。起動するメディア プレーヤーをあらかじめ選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

オプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。

2. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

データやドライブの共有およびソフトウェアへのアクセス

お使いのコンピューターがネットワークの一部である場合、使用できる情報はコンピューターに保存されている情報に限定されません。ネットワークに接続されたコンピューターは、ソフトウェアやデータを相互にやり取りできます。

注記： DVD の動画やゲームなどのディスクでコピーが防止されている場合、そのディスクを共有することはできません。

同じネットワーク上でフォルダーやライブラリを共有するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップで[**エクスプローラー**]を開きます。
2. [**ライブラリ**]ウィンドウの[**共有**]タブ→[**特定のユーザー**]の順にクリックします。
3. [**ファイル共有**]ボックスに名前を入力して、[**追加**]をクリックします。
4. [**共有**]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

ローカル ディスクの情報を共有するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップで[**エクスプローラー**]を開きます。
2. [**ライブラリ**]ウィンドウで[**ローカル ディスク (C:)**]をクリックします。
3. [**共有**]タブ→[**詳細な共有**]の順にクリックします。
4. [**ローカル ディスク (C:) のプロパティ**]ウィンドウで[**詳細な共有**]を選択します。
5. [**このフォルダーを共有する**]にチェックを入れます。

同じネットワーク上でドライブを共有するには、以下の操作を行います。

1. デスクトップの通知領域にある[**ワイヤレス**]アイコン を右クリックします。
2. [**ネットワークと共有センターを開く**]を選択します。

3. [**アクティブなネットワークの表示**]で、アクティブなネットワークを選択します。
4. [**共有の詳細設定の変更**]を選択し、プライバシー、ネットワーク検出、ファイル共有、プリンター共有、またはその他のネットワーク オプションの共有オプションを設定します。

8　コンピューターのメンテナンス

コンピューターを最適な状態に保つには、定期的なメンテナンスを行うことが非常に重要です。この章では、[ディスク デフラグ]や[ディスク クリーンアップ]などのツールの実行によって、コンピューターのパフォーマンスを向上させるための情報を提供します。また、プログラムおよびドライバーの更新、コンピューターの清掃手順、コンピューターの持ち運びに関する情報も提供します。

パフォーマンスの向上

誰もが高速なコンピューターを望んでいますが、[ディスク デフラグ]や[ディスクのクリーンアップ]などのツールを使用して定期的なメンテナンス作業を実行することにより、コンピューターのパフォーマンスを向上させることができます。また、コンピューターが古くなるにつれて、より大容量のドライブの取り付けやメモリの増設を検討する可能性が出てきます。

ドライブの取り扱い

ドライブを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

- ドライブの着脱を行う前に、コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているのか、またはスリープ状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
- ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。
- リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。
- ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリが十分に充電されていることを確認してください。
- ドライブを発送するときは、気泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ－取り扱い注意」と明記してください。
- ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルト コンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。
- ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。
- オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。
- 外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ハードドライブの交換

注意： ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。ドライブに洗剤などの液体を垂らしたり、高温または多湿の場所に放置したりしないでください。ドライブを取り扱う際の特別な注意については、50 ページの「ドライブの取り扱い」を参照してください。

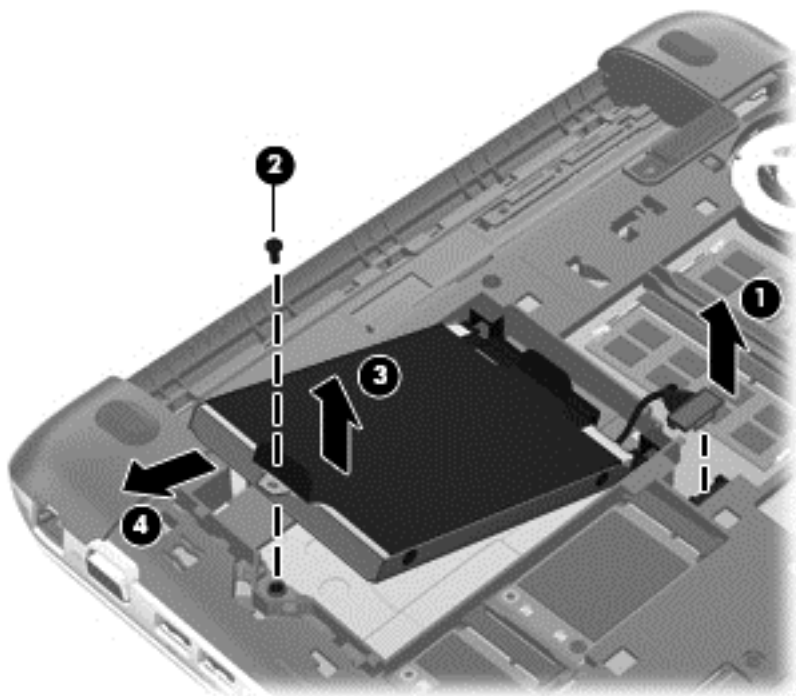
注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているのか、またはスリープ状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

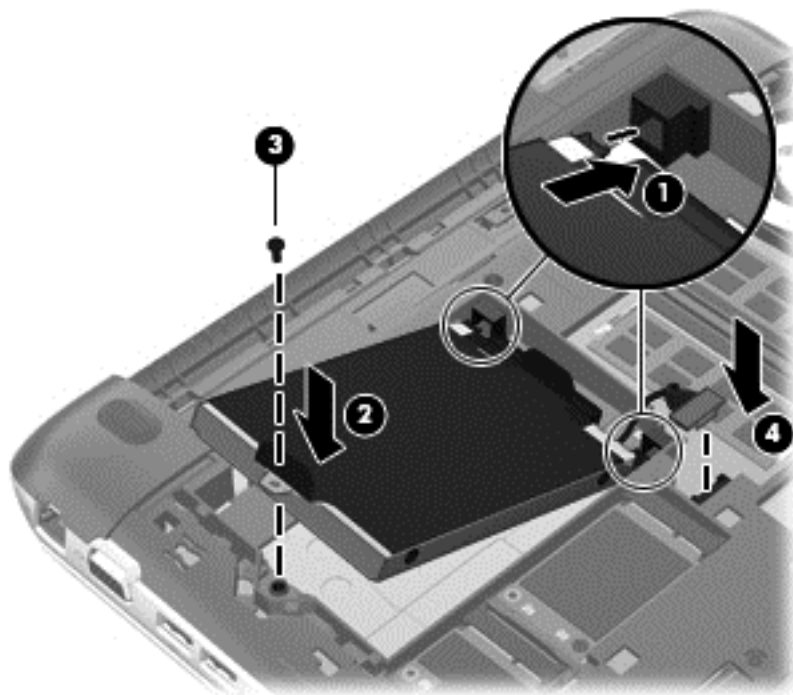
ハードドライブの取り外し

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。
4. 一方の手でバッテリ/底面カバー ラッチをスライドさせて（**1**）、底面カバーの固定を解除し、同時にもう一方の手で底面カバーを押し下げて、カバーをコンピューターの前方に向けてスライドさせます（**2**）。
5. 底面カバーを持ち上げて取り外します（**3**）。

6. ハードドライブ ケーブル コネクタを持ち上げて（**1**）、コンピューターから取り外します。
7. ハードドライブをコンピューターに固定しているネジ［（**2**）］を取り外します。

8. ハードドライブ タブを引き上げ（**3**）、ハードドライブを傾けながらハードドライブ ベイから取り出します（**4**）。

ハードドライブの取り付け

1. ドライブのゴムのスペーサーをハードドライブ ベイの開口部に挿入します（**1**）。
2. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**2**）。
3. ネジ[（**3**）]を取り付けなおします。

4. ハードドライブ ケーブル コネクタを接続します（**4**）。

5. 底面カバーをコンピューターに向かって下ろし（**1**）、バッテリ ベイの方向にスライドさせて、バッテリ/底面カバー ラッチがカチッと音がするまで押し込んで固定します［（**2**）］。

6. バッテリを取り付けなおします。
7. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。
8. コンピューターの電源を入れます。

[HP 3D DriveGuard]の使用（一部のモデルのみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： メイン ハードドライブ ベイまたはセカンダリ ハードドライブ ベイのハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。USB ポートに接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク デフラグ]の使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ドライブが断片化されるとドライブ上のデータが隣接（連続）しなくなり、そのためにハードドライブがファイルを見つけるのが困難になってコンピューターの処理速度が低下します。[ディスク デフラグ]を行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めて（または物理的に再構成して）より効率よく作業を実行できるようになります。

注記： SSD（Solid State Drive）では、[ディスク デフラグ]を実行する必要はありません。

いったん[ディスク デフラグ]を開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ただし、ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで 1 時間以上かかることがあります。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。[ディスク デフラグ]は 1 か月に 1 度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続します。
2. スタート画面で「デフラグ」と入力して、[**設定**]→[**ドライブのデフラグと最適化**]の順に選択します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「ディスク」と入力し、[**設定**]→[**不要なファイルの削除によるディスク領域の解放**]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

メモリ モジュールの追加または交換

お使いのコンピューターには、2 つのメモリ モジュール スロットが装備されています。コンピューターのメモリ容量を増やすには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

注意： 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

注記： 2 つ目のメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2 つのメモリ モジュールを必ず同一のものにしてください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

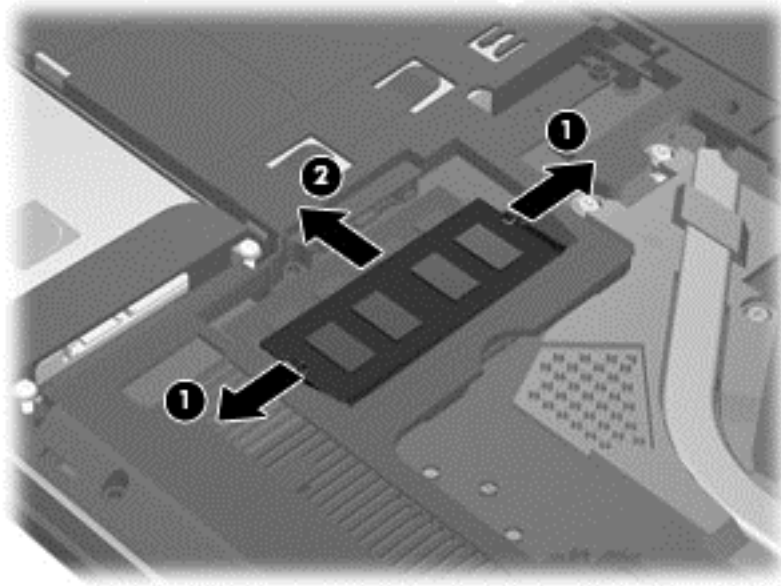
注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

メモリ モジュールを追加または交換する前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときやスリープ状態のときには、メモリ モジュールを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかどうかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

1. 作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを電源コンセントから取り外し、バッテリを取り外します。
4. 底面カバーを取り外します（51 ページの「ハードドライブの取り外し」を参照してください）。
5. メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。
   a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。メモリ モジュールが少し上に出てきます。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上にメモリ モジュールを引き抜いて（**2**）取り外します。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

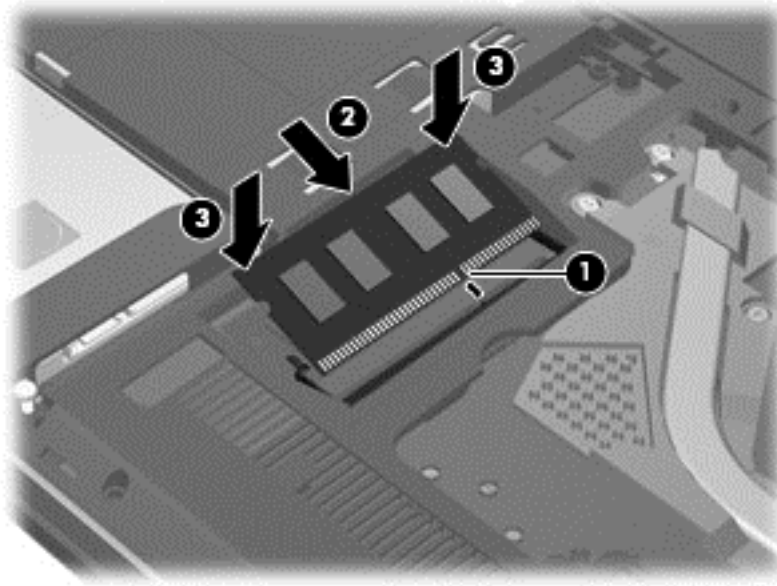
6. 以下の手順で、メモリ モジュールを取り付けます。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット（**1**）を合わせます。

b. しっかりと所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込みます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

⚠ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

7. 底面カバーを取り付けなおします（52 ページの「ハードドライブの取り付け」を参照してください）。

8. バッテリを取り付けなおします。

9. 外部電源および外付けデバイスを取り付けなおします。

10. コンピューターの電源を入れます。

プログラムおよびドライバーの更新

プログラムおよびドライバーを定期的に最新バージョンへ更新することをおすすめします。更新によって問題が解決し、コンピューターで新しい機能やオプションを使用できるようになります。テクノロジーは常に変化しているため、プログラムやドライバーを更新するとお使いのコンピューターで最新のテクノロジーを実行できます。たとえば、古いグラフィックス コンポーネントは最新のゲーム ソフトウェアで正しく動作しない場合があります。最新のドライバーがないと、お手持ちの装置を最大限に活用できません。

HP プログラムおよびドライバーの最新バージョンをダウンロードします。また、新しいバージョンが使用可能になったときに自動的に通知を受け取るように登録することをお勧めします。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

コンピューターの清掃

お使いのコンピューターおよび外付けデバイスを清掃することにより、それらを良好な動作状態に維持できます。コンピューターを清掃しないと、ほこりや汚れの粒子がたまります。

注意： コンピューターの清掃には、以下の清掃用製品は使用しないでください。

アルコール、アセトン、塩化アンモニウム、塩化メチレン、炭化水素などの強力な溶剤を使用すると、コンピューターの表面に修復できない傷が付いてしまう可能性があります。

ディスプレイ、側面およびカバーの清掃

ディスプレイは、ノンアルコールのメガネ用洗剤で湿らせた柔らかい布でやさしく拭いてください。ディスプレイが乾いてから、カバーを閉じるようにしてください。

側面とカバーを清掃するには、あらかじめ湿らせた殺菌性の布を使用してください。ペーパー タオルなどの繊維素材を使用すると、コンピューターに傷が付く可能性があります。

注記： コンピューターのカバーを清掃する場合は、ごみやほこりを除去するため、円を描くように拭いてください。

タッチパッドおよびキーボードの清掃

注意： コンピューターの清掃中も、キーボードのキーとキーの間に洗剤などの液体が絶対に垂れないようにしてください。これによって、内部のコンポーネントに回復できない損傷を与える可能性があります。

- タッチパッドやキーボードを清掃および消毒するには、ノンアルコールのメガネ用洗剤で湿らせた、柔らかいマイクロファイバーのクロスまたは油分を含まない静電気防止布（セーム皮クロスなど）を使用するか、条件に合った使い捨て除菌シートを使用してください。
- キーが固まらないようにするため、また、キーボードからごみや糸くず、細かいほこりを取り除くには、圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してください。

  警告！ 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

コンピューターの持ち運びまたは送付

コンピューターを持ち運んだり発送したりする必要がある場合は、装置を安全に保持するために以下の点を参考にしてください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
  - 外付けドライブに情報をバックアップします。
  - すべてのディスク、およびすべての外付けメディア カード（デジタル ストレージ カードなど）をコンピューターから取り外します。
  - すべての外付けデバイスを、電源を切ってから取り外します。
  - コンピューターをシャットダウンします。
- 情報のバックアップを携帯します。バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。

  注意： ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港のベルト コンベアなど機内持ち込み手荷物をチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

- 機内でコンピューターを使用する場合は、機内のアナウンスを聞いて、コンピューターの使用が許可されている時間を確認してください。機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。
- コンピューターに無線デバイスが搭載されている場合、ある状況においてこれらのデバイスの使用は制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。特定の機器の使用に適用される規定が不明な場合は、コンピューターの電源を入れる前に、使用可能かどうかを確認して許可を得てください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
  - 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
  - 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

  ⚠ **警告！** 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

9 コンピューターと情報の保護

コンピューターのセキュリティは、情報の機密性、整合性、および可用性を保つために重要です。Windows オペレーティング システム、HP アプリケーション、Windows 以外のセットアップ ユーティリティ（BIOS）、およびその他の他社製ソフトウェアの標準のセキュリティ ソリューションによって、ウィルス、ワーム、およびその他の種類の悪質なコードなどのさまざまなリスクからお使いのコンピューターを保護できます。

重要： この章に記載されている一部のセキュリティ機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	Power-on password（電源投入時パスワード）
コンピューター ウィルス	ウィルス対策ソフトウェア
データへの不正なアクセス	ファイアウォール ソフトウェア
セットアップ ユーティリティ（BIOS）の設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	Administrator password（管理者パスワード）
コンピューターへの現在または将来の脅威	ソフトウェアの更新
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するため、およびオンラインでの情報のやり取りを保護するために選択する文字列です。いくつかの種類のパスワードを設定できます。たとえば、コンピューターを初めてセットアップするときに、コンピューターを保護するためにユーザー パスワードを作成するよう求められます。追加のパスワードは、Windows、およびコンピューターにプリインストールされている HP セットアップ ユーティリティ（BIOS）で設定できます。

セットアップ ユーティリティ（BIOS）の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用するとよいでしょう。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- コンピューターがロックされないように、パスワードはすべて書き留め、コンピューターから離れた安全な場所に保管しておきます。パスワードをコンピューター上のファイルに保存しないでください。
- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- 3 か月ごとに 1 回パスワードを変更する
- パスワードは長く、文字、句読点、記号、数字が組み合わされているのが理想です。
- コンピューターを修理などのためにサポートあてに送付する場合は、ファイルのバックアップ、機密性の高いファイルの削除、およびすべてのパスワード設定の削除を事前に行ってください。

スクリーン セーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについて詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。[ヘルプとサポート]にアクセスするには、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
ユーザー パスワード	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します。スリープやハイバネーションの終了時にユーザー パスワードを要求するように、コンピューターをセットアップすることもできます。詳しくは、36 ページの「復帰時のパスワード保護の設定」を参照してください
[Administrator password]（管理者パスワード）	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します **注記：** このパスワードは、セットアップ ユーティリティ（BIOS）のデータへのアクセスには使用できません

セットアップ ユーティリティ（BIOS）パスワードの設定

パスワード	機能
[Administrator password]（管理者パスワード）	• セットアップ ユーティリティ（BIOS）にアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります • Administrator password を忘れた場合は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）にアクセスできません **注記：** Power-on password（電源投入時パスワード）の代わりに Administrator password を入力することもできます **注記：** Administrator password は、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、また、設定時や入力時、変更時、および削除時にパスワードとして設定した文字は表示されません **注記：** 最初のパスワード確認のときに Power-on password を入力した場合は、セットアップ ユーティリティ（BIOS）にアクセスするときに Administrator password を入力する必要があります
[Power-on password]（電源投入時パスワード）	• コンピューターの電源投入時または再起動時には必ずこのパスワードを入力する必要があります • Power-on password を忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動もできなくなります **注記：** Power-on password の代わりに Administrator password を入力することもできます **注記：** Power-on password は、設定時や入力時、変更時、および削除時にパスワードとして設定した文字が表示されません

セットアップ ユーティリティ（BIOS）で Administrator password または Power-on password を設定、変更、または削除するには、以下の操作を行います。

1. セットアップ ユーティリティ（BIOS）を開始するには、コンピューターの電源を入れるか再起動し、すばやく esc キーを押してから f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、［**Security**］（セキュリティ）を選択し、画面の説明に沿って操作します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

インターネット セキュリティ ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルス、スパイウェア、およびその他のオンラインの脅威にさらされる可能性があります。お使いのコンピューターを保護するために、ウィルス対策およびファイアウォール機能を含むインターネット セキュリティ ソフトウェアが試用版としてお使いのコンピューターにプリインストールされている場合があります。新しく発見されたウィルスおよびその他のセキュリティ リスクからコンピューターを保護するには、セキュリティ ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。セキュリティ ソフトウェア試用版をアップグレードするか、自分でセキュリティ ソフトウェアを購入して、お使いのコンピューターを確実に保護することを強くおすすめします。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューター ウィルスに感染すると、プログラム、ユーティリティ、オペレーティング システムなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスが検出および駆除されるとともに、通常、ウィルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。

コンピューター ウィルスについて詳しくは、スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

ファイアウォールは、システムやネットワークへの不正なアクセスを防ぐように設計されています。ファイアウォールには、コンピューターやネットワークにインストールするソフトウェアもあれば、ハードウェアとソフトウェアの両方の組み合わせもあります。

検討すべきファイアウォールには以下の 2 種類があります。

- ホストベースのファイアウォール：インストールされているコンピューターだけを保護するソフトウェアです。
- ネットワークベースのファイアウォール：DSL モデムまたはケーブル モデムとホーム ネットワークの間に設置して、ネットワーク上のすべてのコンピューターを保護します。

ファイアウォールをシステムにインストールすると、そのシステムとの間で送受信されるすべてのデータが監視され、ユーザーの定義したセキュリティ基準と比較されます。セキュリティ基準を満たしていないデータはすべてブロックされます。

ソフトウェア アップデートのインストール

お使いのコンピューターにインストールされている HP、Microsoft Windows、および他社製ソフトウェアは、セキュリティの問題を修正するため、およびソフトウェア パフォーマンスを向上させるために、定期的に更新する必要があります。詳しくは、57 ページの「プログラムおよびドライバーの更新」を参照してください。

Windows の更新のインストール

オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。スタート画面で「コントロール」と入力します。[**コントロール パネル**]→[**システムとセキュリティ**]→[**Windows Update**]の順に選択します。
- [Windows Update]は毎月実行してください。
- Windows およびその他の Microsoft 社のプログラムのアップデートがリリースされるたびに、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

HP および他社製ソフトウェア アップデートのインストール

お使いのコンピューターにあらかじめインストールされているソフトウェアやドライバーを定期的に更新することをおすすめします。最新バージョンをダウンロードするには、HP の Web サイト、http://www.hp.com/support にアクセスして国や地域、または言語を選択してください。ここでは、コンピューターを登録するときに、アップデートが使用可能になった場合に自動更新通知を受け取るように設定することもできます。

コンピューターの購入後に他社製ソフトウェアをインストールした場合、そのソフトウェアを定期的に更新します。ソフトウェア企業は、製品のソフトウェア アップデートを提供することでセキュリティの問題を修正し、ソフトウェアの機能を向上させています。

無線ネットワークの保護

無線ネットワークをセットアップする場合、常にセキュリティ機能を有効にします。詳しくは、16 ページの「無線 LAN の保護」を参照してください。

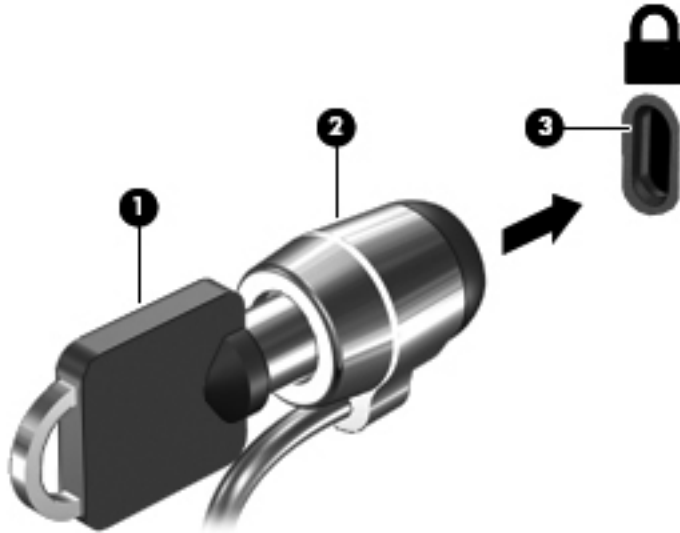
ソフトウェア アプリケーションと情報のバックアップ

ソフトウェア アプリケーションと情報を定期的にバックアップして、ウィルスの攻撃や、ソフトウェアまたはハードウェアの障害によって、アプリケーションと情報が恒久的に失われたり、損傷を受けたりしないように保護します。詳しくは、68 ページの「バックアップおよび復元」を参照してください。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの使用

別売のセキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。セキュリティ ロック ケーブルは、盗難をより確実に防止するために、完全なセキュリティ ソリューションの一部として実施すべきいくつかの方法のうちの 1 つにすぎません。

お使いのコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットは、ここに記載されている図と多少異なる場合があります。お使いのコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットの位置については、4 ページの「コンピューターの概要」を参照してください。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵（**1**）をセキュリティ ロック ケーブル（**2**）に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット（**3**）に差し込み、鍵をかけます。

4. 鍵を抜き、安全な場所に保管します。

10 セットアップ ユーティリティ（BIOS）およびシステム診断の使用

BIOS（Basic Input/Output System）とも呼ばれるセットアップ ユーティリティは、システム上のすべての入出力デバイス（ディスク ドライブ、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンターなど）間で行われる通信を制御します。セットアップ ユーティリティ（BIOS）を使用すると、取り付けるデバイスの種類、コンピューターの起動順序、およびシステム メモリと拡張メモリの容量を設定できます。

セットアップ ユーティリティ（BIOS）の開始

セットアップ ユーティリティ（BIOS）を開始するには、コンピューターの電源を入れるか再起動し、すばやく esc キーを押してから f10 キーを押します。

セットアップ ユーティリティ（BIOS）での操作方法に関する情報が画面の下に表示されます。

注記： セットアップ ユーティリティ（BIOS）で設定変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しなくなる可能性があります。

BIOS の更新

HP の Web サイトから、BIOS の更新されたバージョンを入手できます。

HP の Web サイトでは、多くの BIOS アップデートが「SoftPaq」という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（「ROM の日付」または「システム BIOS」とも呼ばれます）を表示するには、fn ＋ esc キーを押す（Windows を起動している場合）か、セットアップ ユーティリティ（BIOS）を使用します。

1. セットアップ ユーティリティ（BIOS）を開始します。
2. 矢印キーを使用して、[**Main**]（メイン）を選択します。
3. 変更を保存しないでセットアップ ユーティリティ（BIOS）を終了するには、矢印キーを使用して[**Exit**]（終了）→[**Exit Discarding Changes**]（変更を保存しないで終了）の順に選択し、enter キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

注意： コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

1. スタート画面で、[**HP Support Assistant**]アプリケーションを選択します。
2. [**更新および調整タスク**]→[**HP の更新プログラムを今すぐ確認**]の順に選択します。
3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
   a. 最新の BIOS アップデートを確認し、お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンと比較します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

      アップデートが BIOS より新しい場合は、BIOS アップデートをダウンロードするハードドライブ上の場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

   注記： コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「エクスプローラー」と入力して[**エクスプローラー**]を選択します。
2. ハードドライブをクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:）]を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルタップまたはダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

システム診断の使用

システム診断を使用すると、診断テストを実行して、コンピューターのハードウェアが正常に動作しているかどうかを確認できます。

システム診断を開始するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、すばやく esc キーを押してから f2 キーを押します。
2. 実行する診断テストを選択し、画面の説明に沿って操作します。

注記： 診断テストの実行中にテストを停止する必要がある場合は、esc キーを押します。

11 バックアップおよび復元

お使いのコンピューターには、HP が提供しているツールおよびオペレーティング システムに付属のツールが含まれています。これらを使用すると障害の発生に備えて情報を保護したり、障害が発生した場合に保護しておいた情報を取り出したりできます。これらのツールを使用すると、お使いのコンピューターを正常な状態に復元したり、さらには工場出荷時の状態への復元を簡単な手順で実現することができます。

この章には、以下の処理に関する情報が含まれています。

- リカバリ メディアおよびバックアップの作成
- システムの復元および回復

注記： このガイドでは、バックアップ、復元、および回復オプションの概要について説明します。提供されているツールについて詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

リカバリ メディアおよびバックアップの作成

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときと同じ状態に復元されます。

1. コンピューターを正常にセットアップしたら、[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを作成します。この手順を実行すると、コンピューターに HP 復元用パーティションのバックアップが作成されます。バックアップは、ハードドライブが破損したり交換されたりした場合に、元のオペレーティング システムの再インストールに使用できます。

   作成した[HP Recovery]メディアは、以下の復元オプションを提供します。

   - システムの復元：工場出荷時にインストールされていた初期状態のオペレーティング システムおよびプログラムを再インストールします。
   - 最小限のイメージの復元：オペレーティング システムと、ハードウェア関連のすべてのドライバーおよびソフトウェアが再インストールされますが、その他のソフトウェア アプリケーションは再インストールされません。
   - ファクトリ リセット：ハードドライブの全情報を消去してパーティションを再作成し、コンピューターを工場出荷時の状態に復元します。その後、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェアを再インストールします。

69 ページの「[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアの作成」を参照してください。

2. ハードウェアおよびソフトウェア プログラムを追加するときは、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントは、Windows の[システムの復元]機能によって保存された特定の時点でのハードドライブの内容のスナップショットです。システムの復元ポイントには、レジストリ設定など Windows が使用する情報が含まれます。Windows は、Windows の更新時および他のシステムのメンテナンス時（ソフトウェアの更新、セキュリティ スキャン、システム診断など）に自動的にシステムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントは、いつでも手動で作成できます。特定のシステム復元ポイント作成手順について詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

3. 写真、動画、音楽、およびその他の個人用ファイルを追加したら、個人情報のバックアップを作成します。Windows の[ファイル履歴]では、ライブラリ、デスクトップ、連絡先、およびお気に入りを定期的、自動的にバックアップするように設定できます。ファイルをハードドライブから誤って削除してしまってごみ箱からも復元できない場合や、ファイルが壊れてしまった場合は、[ファイル履歴]を使用してバックアップしたファイルを復元できます。ファイルの復元は、Windows を再インストールしてコンピューターをリセットする場合や[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用して復元を実行する場合にも役立ちます。

注記： [ファイル履歴]は初期設定では有効になっていないため、オンにする必要があります。

Windows の[ファイル履歴]を有効にする手順について詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアの作成

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）は、コンピューターのセットアップが正常に完了した後、リカバリ メディアを作成する方法を提供するソフトウェア プログラムです。[HP Recovery]メディアを使用すると、ハードドライブが破損した場合にシステムの復元を実行できます。システムの復元を実行すると、元のオペレーティング システムおよび工場出荷時にインストールされていたソフトウェア プログラムが再インストールされ、それらのプログラムの設定内容が再構築されます。[HP Recovery]メディアを使用して、システムのカスタマイズにも使用でき、ハードドライブの交換するときにも役立ちます。

- [HP Recovery]メディアは 1 セットのみ作成できます。リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。
- [HP Recovery Manager]はコンピューターを検査して、空の USB フラッシュ ドライブの容量がどれだけ必要か、または空の DVD ディスクが何枚必要かを判断します。
- リカバリ ディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込み機能を備えたオプティカル ドライブが搭載されている必要があり、高品質で空の DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、または DVD+R DL ディスクを使用する必要があります。CD±RW、DVD±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクは使用しないでください。これらのディスクは、[HP Recovery Manager]ソフトウェアに対応していません。または、高品質な空の USB フラッシュ ドライブを使用できます。
- お使いのコンピューターに DVD 書き込み機能を備えたオプティカル ドライブが内蔵されておらず、それでも DVD のリカバリ メディアを作成したい場合は、外付けのオプティカル ドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、または HP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを入手できます。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。外付けのオプティカル ドライブを使用する場合は、コ

ンピューター本体の USB ポートに直接接続する必要があります。ドライブを、USB ハブなどの外付けのデバイスの USB ポートに接続することはできません。

- コンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、リカバリ メディアの作成を開始してください。
- 作成処理には最大 1 時間以上かかる場合があります。作成処理を中断しないでください。
- 必要に応じて、すべてのリカバリ DVD の作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。[HP Recovery Manager]は、現在の DVD の書き込みを終了します。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、リカバリ DVD 作成プロセスを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されて、残りのディスクの書き込みが行われます。

[HP Recovery]メディアを作成するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「`recovery`」と入力して[**HP Recovery Manager**]を選択します。
2. [**リカバリ メディアの作成**]を選択し、画面に表示される説明に沿って操作を続行します。

システムを復元する必要がある場合は、72 ページの「[HP Recovery Manager]を使用した復元」を参照してください。

復元

システムを復元するためには、いくつかのオプションがあります。お客様の状況および専門知識のレベルに最適な方法を選択してください。

- 個人用ファイルおよびデータを復元する必要がある場合は、Windows の[ファイル履歴]を使用して作成したバックアップから情報を復元できます。[ファイル履歴]の使用について詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。
- プリインストールされているアプリケーションまたはドライバーの問題を修正する必要がある場合は、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）の[ドライバーおよびアプリケーションの再インストール]オプションを使用して各アプリケーションまたはドライバーを再インストールします。

  スタート画面で「`recovery`」と入力し、[**HP Recovery Manager**]→[**ドライバーおよびアプリケーションの再インストール**]の順に選択して、画面の説明に沿って操作します。
- 個人情報を失わずにシステムを以前の状態に戻したい場合は、Windows の[システムの復元]を使用できます。[システムの復元]を使用すると、Windows の[リフレッシュ]または再インストールの要件が揃っていなくても復元が可能です。Windows は、Windows の更新時および他のシステムのメンテナンス時に自動的にシステムの復元ポイントを作成します。復元ポイントを手動で作成していなくても、自動的に作成された以前のポイントに復元するように選択できます。Windows の[システムの復元]の使用について詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。
- 個人情報や設定、コンピューターにプリインストールされていたアプリケーションや Windows ストアから購入したアプリケーションを失わずに、システムの復元をすばやく簡単に行いたい場合は、Windows の[リフレッシュ]の使用を検討してください。このオプションでは、データを別のドライブにバックアップする必要はありません。71 ページの「Windows の[リフレッシュ]を使用したすばやく簡単な復元」を参照してください。
- お使いのコンピューターを元の状態にリセットする場合、Windows ではすべての個人データ、アプリケーション、および設定を削除して Windows を再インストールする簡単な方法が用意されています。

詳しくは、71 ページの「すべての削除および Windows の再インストール」を参照してください。

- 最小限のイメージを使用してコンピューターをリセットするには、HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）または[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアから HP の[最小限のイメージの復元]オプションを選択することもできます。[最小限のイメージの復元]では、ドライバーおよびハードウェア有効化アプリケーションのみがインストールされます。イメージに含まれている他のアプリケーションは、[HP Recovery Manager]の[ドライバーおよびアプリケーションの再インストール]オプションを使用して引き続きインストールできます。

  詳しくは、72 ページの「[HP Recovery Manager]を使用した復元」を参照してください。

- コンピューターの工場出荷時のパーティションおよびコンテンツを復元したい場合は、[HP Recovery]メディアの[システムの復元]オプションを選択できます。詳しくは、72 ページの「[HP Recovery Manager]を使用した復元」を参照してください。

- ハードドライブを交換した場合は、[HP Recovery]メディアの[ファクトリ リセット]オプションを使用して、交換したドライブに工場出荷時イメージを復元できます。詳しくは、72 ページの「[HP Recovery Manager]を使用した復元」を参照してください。

- 復元用パーティションを削除してハードドライブの空き領域を増やせるように、[HP Recovery Manager]には[リカバリ パーティションの削除]オプションが用意されています。

  詳しくは、74 ページの「HP 復元用パーティションの削除」を参照してください。

Windows の[リフレッシュ]を使用したすばやく簡単な復元

お使いのコンピューターが正常に動作せず、システムの安定性を回復する必要がある場合は、Windows の[リフレッシュ]オプションを使用すると、重要なものを保持したまま元の状態に戻すことができます。

重要： [リフレッシュ]では、工場出荷時にシステムにインストールされていなかった従来のアプリケーションがすべて削除されます。

注記： [リフレッシュ]実行中に、削除された従来のアプリケーションの一覧が保存されるため、再インストールする必要があるアプリケーションをすぐに確認できます。従来のアプリケーションの再インストールの手順については、[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

注記： [リフレッシュ]を使用するときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。スタート画面で「ヘルプ」と入力して[**ヘルプとサポート**]を選択します。

[リフレッシュ]を開始するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で、画面の右上隅または右下隅をポイントしてチャームを表示します。
2. [**設定**]をクリックします。
3. 画面の右下隅にある[**PC の設定の変更**]をクリックし、コンピューター設定画面の[**全般**]を選択します。
4. [**PC をリフレッシュする**]で[**開始する**]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

すべての削除および Windows の再インストール

お使いのコンピューターのきめ細かい再フォーマットを実行したり、コンピューターの譲渡やリサイクルの前に個人情報を削除したりする必要が生じる場合があります。このセクションで説明する手順では、コンピューターを元の状態に戻すための迅速で簡単な方法について説明します。このオプ

ションでは、お使いのコンピューターからすべての個人データ、アプリケーション、および設定を削除されてから Windows が再インストールされます。

重要： このオプションでは、ユーザーが作成したデータのバックアップ機能は提供されません。保持したい個人データは、このオプションを使用する前にバックアップしてください。

このオプションは、f11 キーまたはスタート画面から起動できます。

f11 キーを使用するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの起動中に f11 キーを押します。

   または

   電源ボタンを押す時に f11 キーを押したままにします。

2. ブート オプション メニューから［**トラブルシューティング**］を選択します。
3. ［**PC を初期状態に戻す**］を選択し、画面の説明に沿って操作します。

スタート画面を使用するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で、画面の右上隅または右下隅をポイントしてチャームを表示します。
2. ［**設定**］をクリックします。
3. 画面の右下隅にある［**PC 設定の変更**］をクリックして、コンピューター設定画面の［**全般**］を選択します。
4. ［**すべてを削除して Windows を再インストールする**］で、［**開始する**］を選択し、画面の説明に沿って操作します。

[HP Recovery Manager]を使用した復元

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用して、コンピューターを工場出荷時の状態に復元できます。作成した[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用すると、以下の復元オプションのどれかを選択できます。

- システムの復元：初期状態のオペレーティング システムを再インストールし、工場出荷時にインストールされていたプログラムの設定を再構築します。
- 最小限のイメージの復元：オペレーティング システムに加えて、ハードウェア関連のすべてのドライバーおよびソフトウェアを再インストールしますが、その他のソフトウェア アプリケーションは再インストールされません。
- ファクトリ リセット：ハードドライブの全情報を消去してパーティションを再作成し、コンピューターを工場出荷時の状態に復元します。その後、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェアを再インストールします。

HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用すると、[最小限のイメージの復元]を実行できます。

確認しておくべきこと

- [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）では、出荷時にインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードするかまたは製造元から提供されたメディアから再インストールする必要があります。
- [HP Recovery Manager]を使用した復元は、コンピューターの問題を修正するための最後の手段として試みてください。

- コンピューターのハードドライブに障害が発生した場合は、[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用する必要があります。
- [ファクトリ リセット]または[システムの復元]オプションを使用するには、[HP Recovery]メディアを使用する必要があります。
- [HP Recovery]メディアが動作しない場合は、HP の Web サイトからお使いのシステムのリカバリ メディアを入手できます。日本でのサポートについては、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html （英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

重要： [HP Recovery Manager]では、ユーザーが作成したデータのバックアップ機能は提供されません。復元を開始する前に、保持したい個人データをバックアップしてください。

HP 復元用パーティションを使用した最小限のイメージの復元（一部のモデルのみ）

HP 復元用パーティション（一部のモデルのみ）を使用すると、リカバリ ディスクまたはリカバリ USB フラッシュ ドライブなしで最小限のイメージの復元を実行できます。このような復元は、ハードドライブがまだ動作している場合にのみ使用できます。

HP 復元用パーティションから[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの起動中に f11 キーを押します。

   または

   電源ボタンを押す時に f11 を押したままにします。

2. ブート オプション メニューで[**トラブルシューティング**]を選択します。
3. [**HP Recovery Manager**]を選択して、画面の説明に沿って操作します。

[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを使用した復元

[HP Recovery]メディアを使用して、元のシステムを復元できます。この方法は、システムに HP 復元用パーティションがない場合やハードドライブが正常に動作していない場合に使用できます。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 作成した 1 枚目の[HP Recovery]ディスクをお使いのコンピューターのオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   または

   作成した[HP Recovery]USB フラッシュ ドライブをお使いのコンピューターの USB ポートに挿入してから、コンピューターを再起動します。

   注記： [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）でコンピューターが自動的に再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更します。73 ページの「コンピューターのブート順序の変更」を参照してください。

3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

コンピューターのブート順序の変更

コンピューターが[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）で再起動しない場合は、コンピューターのブート順序を変更できます。これは、コンピューターが起動情報を検索するときに参

照する BIOS にあり、デバイスの順番がリストになっています。オプティカル ドライブおよび USB フラッシュ ドライブの選択順を変更することができます。

ブート順序を変更するには、以下の操作を行います。

1. 作成した[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを挿入します。
2. コンピューターを再起動します。
3. コンピューターの再起動中に esc キーを押したままにし、f9 キーを押してブート オプションを表示します。
4. 起動したいオプティカル ドライブまたは USB フラッシュフラッシュ ドライブを選択します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

HP 復元用パーティションの削除

[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）ソフトウェアを使用すると、HP 復元用パーティションを削除してハードドライブの空き領域を増やせます。

重要： HP 復元用パーティションを削除すると、Windows の[リフレッシュ]オプションおよび Windows の[すべてを削除して Windows を再インストールする]オプション、または最小限のイメージに復元する[HP Recovery Manager]のオプションが使用できなくなります。復元用パーティションを削除する前に[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアを作成して、復元する手段を確保しておくようにしてください。69 ページの「[HP Recovery]（HP リカバリ）メディアの作成」を参照してください。

HP 復元用パーティションを削除するには、以下の操作を行います。

1. スタート画面で「recovery」と入力して[**HP Recovery Manager**]を選択します。
2. [**復元用パーティションの削除**]を選択し、画面に表示される説明に沿って操作を続行します。

12 仕様

入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。AC 電源は 100～240 V（50/60 Hz）の定格に適合している必要があります。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。動作電圧と電流はプラットフォームによって異なります。

入力電源	定格
動作電圧と電流	18.5 V DC（3.5 A、65 W の場合）
HP 外部電源用 DC プラグ	

注記： この製品は、最低充電量 240 V rms 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧および動作電流は、システムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	国際単位系	U.S.
温度		
動作時	**5～35°C**	41～95°F
非動作時	**-20～60°C**	-4～60.00°C
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	**10～90%**	10～90%
非動作時	**5～95%**	5～95%
最大標高（非与圧）		
動作時	**-15～3,048 m**	-50～10,000 フィート
非動作時	**-15～12,192 m**	-50～40,000 フィート

13 静電気対策

静電気の放電は、じゅうたんの上を歩いてから金属製のドアノブに触れたときなど、2 つのものが接触したときに発生します。

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなったりすることがあります。静電気に弱い部品を取り扱う前に、以下で説明する方法のどれかで身体にたまった静電気を放電してください。

- 取り外しまたは取り付けの手順で、コンピューターから電源コードを取り外すように指示されている場合は、正しくアースしてから電源コードを取り外し、その後カバーを外すなどの作業を行います。
- 部品は、コンピューターに取り付ける直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 部品を取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電します。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

静電気についての詳しい情報、または部品の取り外しや取り付けに関するサポートが必要な場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

索引